



ご案内

- ▶ [トップページ](#)
- ▶ [教授挨拶](#)
- ▶ [教室紹介](#)
- ▶ [診療内容](#)
- ▶ [外来担当表](#)
- ▶ [セカンドオピニオン](#)
- ▶ [研究課題](#)
- ▶ [臨床試験](#)
- ▶ [業績](#)
- ▶ [研修・入局案内](#)
- ▶ [関連病院紹介](#)
- ▶ [スタッフ紹介](#)
- ▶ **教室日記**
- ▶ [2022年](#)
- ▶ [2021年](#)
- ▶ [2020年](#)
- ▶ [2019年](#)
- ▶ [2018年](#)
- ▶ [2017年](#)
- ▶ [2016年](#)
- ▶ [2015年](#)
- ▶ [2014年](#)
- ▶ [2013年](#)
- ▶ [2012年](#)
- ▶ [2011年](#)
- ▶ [2010年](#)
- ▶ [2009年](#)
- ▶ [2008年](#)
- ▶ [2007年](#)
- ▶ [オプトアウト対象の臨床研究](#)
- ▶ [寄付講座](#)
- ▶ [同門会](#)



- [岐阜大学医学部](#)
- [岐阜大学医学部附属病院](#)
- [岐阜大学医学部附属病院がんセンター](#)
- [岐阜大学医学部附属病院外科](#)

▼ 教室日記

[トップページ](#) > [教室日記](#) > [腫瘍外科・西8階病棟 忘年会を行いました](#)

腫瘍外科・西8階病棟 忘年会を行いました

投稿日：2018年12月27日（木）

平成30年12月27日に十八楼にて腫瘍外科・西8階病棟の忘年会を行いました。

西8階病棟、先進医療推進センター、外科外来、薬剤部から日頃からお世話になっている多くのメディカルスタッフの方々が参加してくださいました。総勢65名の忘年会となりました。

本年は当科の吉田和弘教授が岐阜大学医学部附属病院病院長に就任されました。また、当科に新たに小児外科部門が新設されました。さらに3月には制癌剤適応研究会を、5月には癌免疫外科研究会を当科が主催いたしました。そして吉田教授がPIを務めましたJACCRO GC-07では、進行胃癌の術後補助化学療法におけるDS療法の有効性が証明され、大きな出来事づくしの1年でした。

吉田和弘教授からは、本年も大きな医療事故なく最善の医療を提供できましたことに、参加者一同への労いの言葉をいただきました。来年も最善の医療を提供できるよう努力するとともに、いよいよ来年に迫りました癌治療学会学術集会の主催に向けて医局員、メディカルスタッフ一同、心をひとつにしました。

会の途中には新人看護師さん、新しく病棟勤務に就かれた腫瘍外科医局員のパフォーマンスが行われ、大盛り上がりでした。

最後に食道チーム 田中善宏先生、胃チーム 山口和也先生・棚橋利行先生、乳腺チーム 二村学先生、肝胆膵チーム 今井寿先生・松井聡先生、小児外科チーム 加藤充純先生、大腸チーム 高橋孝夫先生・松橋延壽先生、そして西8病棟玉井師長から1年間の総括を頂きました。



外来、病棟、化学療法室看護師、薬剤師、クラークさん、治験管理部門の皆様、本年も皆様のお力で良い1年となりました。大変お疲れさまでした。2019年も充実した1年となりますよう頑張っていきましょう！！

[▲ページの先頭へ戻る](#)



ご案内

- ▶ トップページ
- ▶ 教授挨拶
- ▶ 教室紹介
- ▶ 診療内容
- ▶ 外来担当表
- ▶ セカンドオピニオン
- ▶ 研究課題
- ▶ 臨床試験
- ▶ 業績
- ▶ 研修・入局案内
- ▶ 関連病院紹介
- ▶ スタッフ紹介
- ▶ **教室日記**
- ▶ 2022年
- ▶ 2021年
- ▶ 2020年
- ▶ 2019年
- ▶ 2018年
- ▶ 2017年
- ▶ 2016年
- ▶ 2015年
- ▶ 2014年
- ▶ 2013年
- ▶ 2012年
- ▶ 2011年
- ▶ 2010年
- ▶ 2009年
- ▶ 2008年
- ▶ 2007年
- ▶ オプトアウト対象の臨床研究
- ▶ 寄付講座
- ▶ 同門会



教室日記

トップページ > 教室日記 > 吉田和弘先生 岐阜大学医学部附属病院 病院長就任祝賀会を開催しました

吉田和弘先生 岐阜大学医学部附属病院 病院長就任祝賀会を開催しました

投稿日：2018年12月15日 (土)

平成30年12月15日に岐阜都ホテル2階ホールにて、吉田和弘先生 岐阜大学医学部附属病院 病院長就任祝賀会を開催しました。

多数の来賓の方々や同門の先生方、総勢180名が参加され盛大に開催されました。



病院長就任記念講演 吉田和弘教授

10年間の吉田教授の歩み、候補時の所信演説の内容、岐阜大学病院の現状と今後の病院長としての病院経営戦略、そして将来の岐阜の日本の医療について講演されました。



ご挨拶 岐阜大学名誉教授 佐治重豊先生



ご挨拶 岐阜大学学長 森脇久隆先生



ご祝辞 岐阜県副知事 神門純一氏



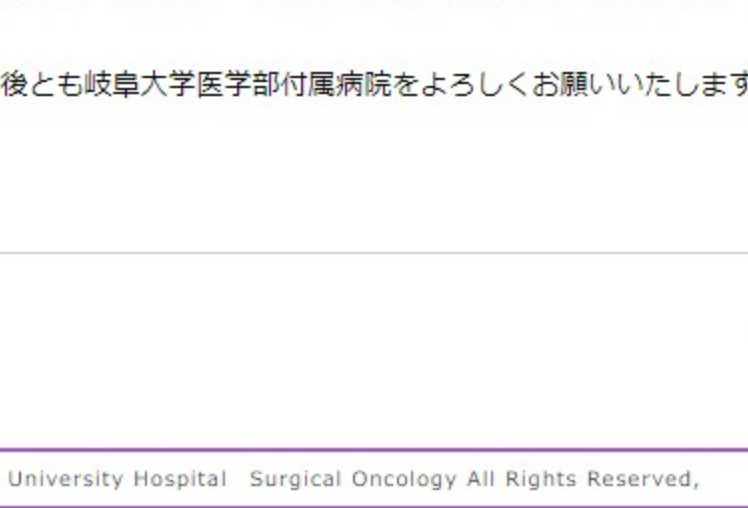
ご祝辞 慶応義塾大学病院病院長 北川雄光先生



ご祝辞 群馬大学病態腫瘍薬理学講座 西山正彦教授



乾杯 国際医療福祉大学 名誉学長・副理事長 北島政樹先生



ご出席いただきました先生方、誠にありがとうございました。

本祝賀会は7月に開催予定でしたが、豪雨災害のため延期をしております。準備委員長の山口和也先生をはじめ、腫瘍外科医局の皆様、誠にお疲れさまでした。

皆さま、今後とも岐阜大学医学部附属病院をよろしくお願いたします。



ご案内

トップページ

教授挨拶

教室紹介

診療内容

外来担当表

セカンドオピニオン

研究課題

臨床試験

業績

研修・入局案内

関連病院紹介

スタッフ紹介

教室日記

2022年

2021年

2020年

2019年

2018年

2017年

2016年

2015年

2014年

2013年

2012年

2011年

2010年

2009年

2008年

2007年

オプトアウト対象の臨床研究

寄付講座

同門会



同門会発行
辛夷



胃がんとは
MOVIE



外来化学療法
って何？



術後GISTの
化学療法



ASCO2013
~Late Breaking Abstracts~



ASCO2015
~special session :
Global Oncology Symposium~



岐阜大学医学部



岐阜大学医学部附属
病院



岐阜大学医学部附属
病院がんセンター



岐阜大学医学部附属
病院外科

教室日記

トップページ > 教室日記 > 第57回日本癌治療学会学術集会のウェブサイトが公開されました

第57回日本癌治療学会学術集会のウェブサイトが公開されました

投稿日：2018年11月20日（火）



第57回日本癌治療学会学術集会のウェブサイトが公開されました

<http://congress.jasco.or.jp/jsco2019/>

本学術集会は岐阜大学腫瘍外科 吉田和弘教授が会長を務め、当科が主幹をさせていただきます。

皆様、どうぞよろしくお願いたします。

▲ページの先頭へ戻る

ご案内

- ▶ [トップページ](#)
- ▶ [教授挨拶](#)
- ▶ [教室紹介](#)
- ▶ [診療内容](#)
- ▶ [外来担当表](#)
- ▶ [セカンドオピニオン](#)
- ▶ [研究課題](#)
- ▶ [臨床試験](#)
- ▶ [業績](#)
- ▶ [研修・入局案内](#)
- ▶ [関連病院紹介](#)
- ▶ [スタッフ紹介](#)
- ▶ **教室日記**
- ▶ [2022年](#)
- ▶ [2021年](#)
- ▶ [2020年](#)
- ▶ [2019年](#)
- ▶ [2018年](#)
- ▶ [2017年](#)
- ▶ [2016年](#)
- ▶ [2015年](#)
- ▶ [2014年](#)
- ▶ [2013年](#)
- ▶ [2012年](#)
- ▶ [2011年](#)
- ▶ [2010年](#)
- ▶ [2009年](#)
- ▶ [2008年](#)
- ▶ [2007年](#)
- ▶ [オプアウト対象の臨床研究](#)
- ▶ [寄付講座](#)
- ▶ [同門会](#)


同門会発行
辛夷


胃がんとは
 MOVIE


外来化学療法
 って何？


術後GISTの
化学療法


ASCO2013
 ~Late Breaking Abstracts~


ASCO2015
 ~special session : Global Oncology Symposium~

-  [岐阜大学医学部](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院がんセンター](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院乳腺外科](#)

教室日記

トップページ > 教室日記 > 第11回 腫瘍外科 医局説明会を開催しました

第11回 腫瘍外科 医局説明会を開催しました

投稿日：2018年11月16日（金）

第11回 腫瘍外科 医局説明会

研修医の皆さん、研修生活はいかがですか。
自分の進路について悩み始める時期ではないでしょうか。
その悩み、聞かせてください。
我々と一緒に将来のキャリアパスを考えましょう。
岐阜の外科は今本当に若い力を必要としています。


平成30年11月16日（金曜日）19時30分～
会場：岐阜都ホテル 2F 「漣」

19時30分～ 講演①
「外科医と愉快的仲間たち」
 岐阜大学附属病院 腫瘍外科 坂野慎哉 先生

20時00分～ 講演②
「目指せ！乳腺外科医」
 岐阜県総合医療センター 乳腺外科 小木曾敦子 先生

21時00分～
「外科研修プログラムについて」
 岐阜大学附属病院 腫瘍外科 松橋延壽 先生

22時00分～
交流会@COA *都ホテルよりマイクローバス出ます



皆様の御参加心よりお待ちしております！！

<問い合わせ>
 岐阜大学腫瘍外科医局（6235） 担当：岩田幸紀
 E-mail：yoshinori_vb2@yahoo.co.jp

平成30年11月16日に岐阜都ホテルにて、第11回 腫瘍外科 医局説明会を開催しました。

腫瘍外科に興味のある岐阜県内の研修医21名の先生方が参加してくださいました。



吉田和弘教授から開会のご挨拶をいただきました



二村 学准教授より乾杯のご挨拶をいただきました



講演①「外科医と愉快的仲間たち」 岐阜大学腫瘍外科 坂野慎哉先生



講演②「目指せ！乳腺外科医」 岐阜県総合医療センター 小木曾敦子先生



松橋延壽先生から腫瘍外科、外科研修プログラムについて説明いただきました



参加いただいた研修医の皆さん、演者の先生のお話を熱心に聞いていました



下呂市立金山病院院長 須原貴志先生に閉会のご挨拶をいただきました

2次会ではCOAに移動し、研修医の皆さん、腫瘍外科医局の関連病院の先生方とも話すことができ、腫瘍外科の熱い思いが伝わったのではないかと思います。

当科の外科研修プログラムは、きっと研修医の皆さんの期待に応えられる研修となるはず。研修医のみならず、ぜひ腫瘍外科に入局していただき、一緒に活躍しましょう！

▼ **ご案内**

- ▶ トップページ
- ▶ 教授挨拶
- ▶ 教室紹介
- ▶ 診療内容
- ▶ 外来担当表
- ▶ セカンドオピニオン
- ▶ 研究課題
- ▶ 臨床試験
- ▶ 業績
- ▶ 研修・入局案内
- ▶ 関連病院紹介
- ▶ スタッフ紹介
- ▶ **教室日記**
- ▶ 2022年
- ▶ 2021年
- ▶ 2020年
- ▶ 2019年
- ▶ 2018年
- ▶ 2017年
- ▶ 2016年
- ▶ 2015年
- ▶ 2014年
- ▶ 2013年
- ▶ 2012年
- ▶ 2011年
- ▶ 2010年
- ▶ 2009年
- ▶ 2008年
- ▶ 2007年
- ▶ オプトアウト対象の臨床研究
- ▶ 寄付講座
- ▶ 同門会



- [岐阜大学医学部](#)
- [岐阜大学医学部附属病院](#)
- [岐阜大学医学部附属病院がんセンター](#)
- [岐阜大学医学部附属病院外科](#)

▼ **教室日記**

トップページ > 教室日記 > 第6回次世代内視鏡外科Labセミナーを開催しました

第6回次世代内視鏡外科Labセミナーを開催しました

投稿日：2018年11月11日（日）

毎年行われている次世代内視鏡外科Labセミナーも今年で6回目を迎えました。今年は2018年11月11日に1日のみでのコースとなり、川崎で行いました。

コース責任者：岐阜大学腫瘍外科 吉田和弘教授

コースコーディネーター：岐阜大学腫瘍外科 高橋孝夫先生



今年は同門から若手含めて20名、研修医の先生9名に御参加いただきました。今年は1日コースということもありビデオクリニックなどは行わず、ブタを用いた内視鏡トレーニングとドライボックスでの練習のみとなりました。最初に岐阜市民病院の奥村先生からブタのLDGとLACのコツを解説いただきました。その後は5つの班に分かれ、中堅の医師が中心となり、若手や研修医の先生の指導に当たりました。どの班でも一日で胆摘、LDG、LACと3つの術式を完遂していました。



やはり今の若手の先生方は腹腔鏡手術に慣れており、手もよく動き、比較的スムーズに進んでいた印象を受けました。ドライボックスでは、岐阜県総合医療センターの長尾先生に御指導いただき腸管吻合や内視鏡下での結紮縫合の練習を行いました。昼食の時間を惜しんで練習に励む姿もみられ、非常に有意義な時間となりました。



このようなセミナーは若手外科医にとって非常によい練習の場であり、他施設の先生の指導を受けられる貴重な時間です。また、研修医の先生方にとっては外科医を目指すきっかけとなりうる機会ですので、今後もこのような活動を継続的にやりたいと考えております。

文責：岩田至紀、高橋孝夫

▼ **ご案内**

- ▶ トップページ
- ▶ 教授挨拶
- ▶ 教室紹介
- ▶ 診療内容
- ▶ 外来担当表
- ▶ セカンドオピニオン
- ▶ 研究課題
- ▶ 臨床試験
- ▶ 業績
- ▶ 研修・入局案内
- ▶ 関連病院紹介
- ▶ スタッフ紹介
- ▶ **教室日記**

2022年
2021年
2020年
2019年
2018年
2017年
2016年
2015年
2014年
2013年
2012年
2011年
2010年
2009年
2008年
2007年

- ▶ オプトアウト対象の臨床研究
- ▶ 寄付講座
- ▶ 同門会



-  [岐阜大学医学部](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院がんセンター](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院外科](#)

▼ **教室日記**

トップページ > 教室日記 > 第56回日本癌治療学会学術集会にて今井 助教が最優秀演題賞を、森 助教が優秀演題賞を受賞しました

第56回日本癌治療学会学術集会にて今井 助教が最優秀演題賞を、森 助教が優秀演題賞を受賞しました

投稿日：2018年10月20日（土）



2018年10月18-20日にパシフィコ横浜にて第56回日本癌治療学会学術集会が開催されました。大阪大学泌尿器科の野々村祝夫先生が会長を務められました。3日間とも多くのメディカルスタッフが参加し、大変素晴らしい会でした。

当科からは**24演題の発表**をしました。

そのなかで、今井健晴 助教が**最優秀演題賞**を、森 龍太郎 助教が**優秀演題賞**を受賞しました。

今井健晴：『Safety and effect of reconstruction using subtotal stomach in esophageal cancer surgery』

吉田和弘教授と田中善宏チーフが10年間築き上げて来られた、食道癌手術の亜全胃再建の成果について発表しました。

森 龍太郎：『Thymidine phosphorylase阻害による5FU耐性の克服』

森先生が継続して行ってきた研究の成果を発表されました。



今後のますますの活躍を期待いたします。

閉会式では、次期第57回会長の吉田和弘教授が挨拶されました。



来年はいよいよ当科が癌治療学会学術集会を主催します。

第57回日本癌治療学会学術集会

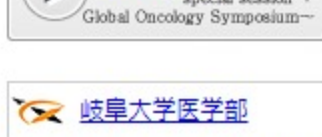
2019年10月24日（木曜） - 26日（土曜）

福岡国際会議場・福岡サンパレス・マリンメッセ福岡

医局員一同、気を引き締めて準備していきます。皆様どうぞよろしくお願いたします。



ご案内
トップページ
教授挨拶
教室紹介
診療内容
外来担当表
セカンドオピニオン
研究課題
臨床試験
業績
研修・入局案内
関連病院紹介
スタッフ紹介
教室日記
2022年
2021年
2020年
2019年
2018年
2017年
2016年
2015年
2014年
2013年
2012年
2011年
2010年
2009年
2008年
2007年
オプトアウト対象の臨床研究
寄付講座
同門会



教室日記

トップページ > 教室日記 > ブルーリボンキャラバン もっと知ってほしい 大腸がんのこと2018 in Gifuを開催しました

ブルーリボンキャラバン もっと知ってほしい 大腸がんのこと2018 in Gifuを開催しました

投稿日：2018年10月14日（日）



2018年10月14日、岐阜県図書館にてブルーリボンキャラバン もっと知ってほしい 大腸がんのこと2018 in Gifu（岐阜大学病院 県民公開講座）を開催しました。

ブルーリボンキャンペーンは、大腸がんの予防・検診から診断方法と、その後の、内視鏡治療、外科的治療、そして薬物治療についての正確な情報を広く皆様に知っていただくことを目的としております。NPO法人キャンサーネットジャパンが、大腸がん疾患啓発活動として全国で開催されております。今回は、岐阜大学病院が中心となり、岐阜県民公開講座として開催しました。

本会は、大腸癌研究会会長 杉原健一先生とアナウンサーの中井美穂さんをお招きいたしました。

当日は多目的ホール、サテライト室が入りきれなくなるほどで、610名を超える大変多くの県民のみなさんに参加していただくことができました。



総司会 中井美穂さん



開会挨拶 NPO法人キャンサーネットジャパン 濱島明美さん



「がん」ってなに？

岐阜大学医学部附属病院院長・腫瘍外科 吉田和弘 教授



大腸がんってどんな病気？

大腸癌研究会 会長 杉原健一 先生



大腸がんの予防・検診・検査（内視鏡治療について）

岐阜大学消化器内科 荒木寛司 先生



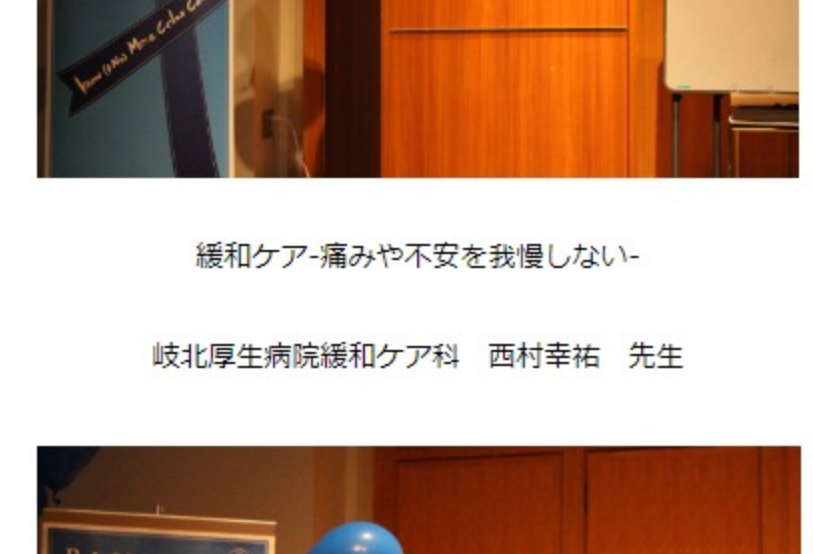
大腸がんの外科的治療-最近のトピックスを含めて-

岐阜大学腫瘍外科 高橋孝夫 先生



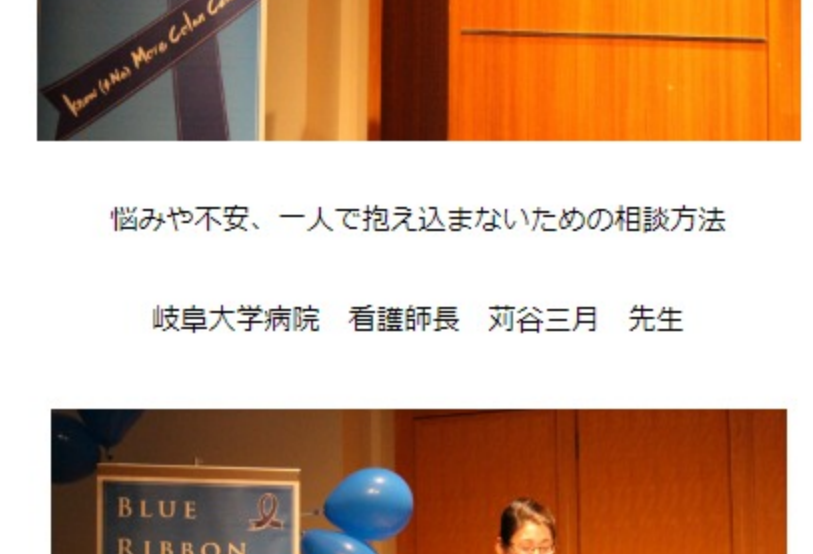
ここまでですんだ大腸がん化学療法

岐阜大学腫瘍外科 松橋延壽 先生



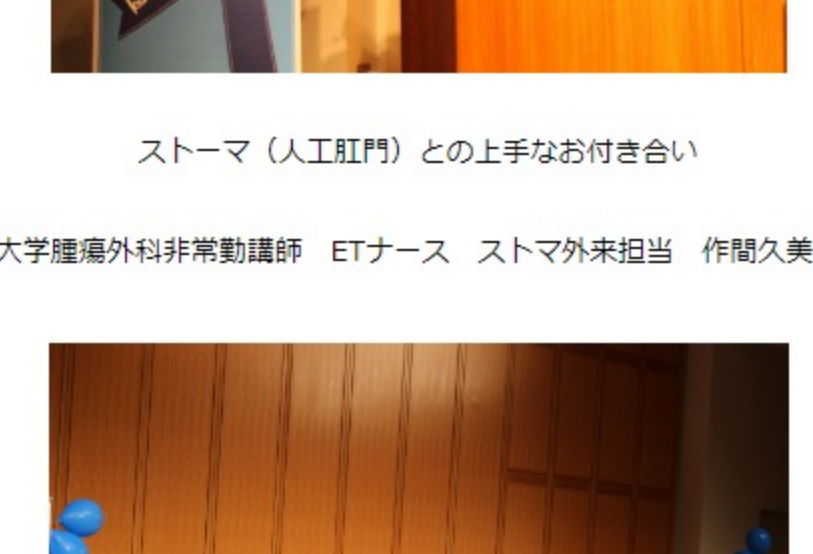
緩和ケア-痛みや不安を我慢しない-

岐阜厚生病院緩和ケア科 西村幸祐 先生



悩みや不安、一人で抱え込まないための相談方法

岐阜大学病院 看護師長 刈谷三月 先生

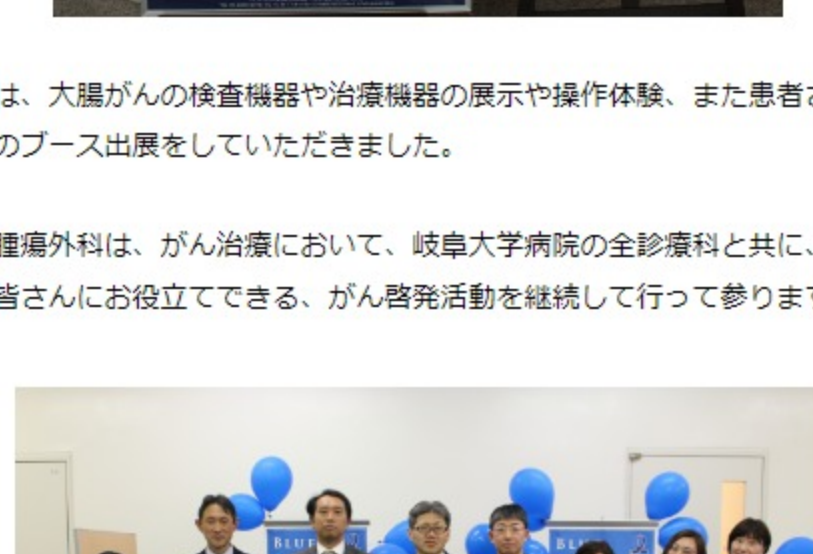


ストーマ（人工肛門）との上手なお付き合い

岐阜大学腫瘍外科非常勤講師 ETナース ストーマ外来担当 作間久美 先生

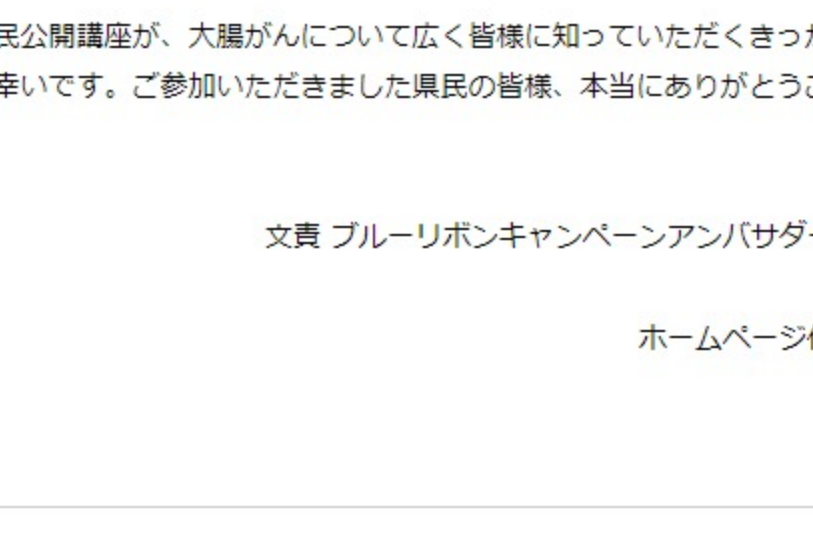


総合討論では、パネリストの先生方が 会場の皆様からの質問に丁寧に答えられました。



ロビーでは、大腸がんの検査機器や治療機器の展示や操作体験、また患者さんの会や支援団体のブース出展をしていただきました。

岐阜大学腫瘍外科は、がん治療において、岐阜大学病院の全診療科と共に、今後も岐阜県民の皆さんにお役に立てる、がん啓発活動を継続して行って参ります。



今回の県民公開講座が、大腸がんについて広く皆様に知っていただくきっかけとなりましたら幸いです。ご参加いただきました県民の皆様、本当にありがとうございました。

文責 ブルーリボンキャンペーンアンバサダー 高橋孝夫
ホームページ係 今井健晴



ご案内

- ▶ トップページ
- ▶ 教授挨拶
- ▶ 教室紹介
- ▶ 診療内容
- ▶ 外来担当表
- ▶ セカンドオピニオン
- ▶ 研究課題
- ▶ 臨床試験
- ▶ 業績
- ▶ 研修・入局案内
- ▶ 関連病院紹介
- ▶ スタッフ紹介
- ▶ 教室日記
- ▶ 2022年
- ▶ 2021年
- ▶ 2020年
- ▶ 2019年
- ▶ 2018年
- ▶ 2017年
- ▶ 2016年
- ▶ 2015年
- ▶ 2014年
- ▶ 2013年
- ▶ 2012年
- ▶ 2011年
- ▶ 2010年
- ▶ 2009年
- ▶ 2008年
- ▶ 2007年
- ▶ オプトアウト対象の臨床研究
- ▶ 寄付講座
- ▶ 同門会



- [岐阜大学医学部](#)
- [岐阜大学医学部附属病院](#)
- [岐阜大学医学部附属病院がんセンター](#)
- [岐阜大学医学部附属病院外科](#)

教室日記

トップページ > 教室日記 > GI CANCER FORUM IN GIFUが開催されました

GI CANCER FORUM IN GIFUが開催されました

投稿日：2018年10月11日 (木)



基調講演 19:00~19:50

座長 岐阜大学大学院医学系研究科 低侵襲がん集学的治療学講座 教授 山口 和也 先生

『当科におけるアブラキサンの使用経験』

岐阜大学大学院医学系研究科 腫瘍外科 棚橋 利行 先生

『当科での食道癌治療の過去10年の成績』

岐阜大学大学院医学系研究科 腫瘍外科 講師 田中 善宏 先生

特別講演 19:50~20:50

座長 岐阜大学大学院医学系研究科 腫瘍外科 教授 岐阜大学医学部附属病院 病院長 吉田 和弘 先生

『胃癌食道癌化学療法の最近のトピックス』

国立がん研究センター中央病院 消化管内科 医長 加藤 健 先生

当日は、お弁当をご用意いたします。

主催：大塚薬品工業株式会社

2018年10月11日に国立がん研究センター中央病院 消化管内科医長 加藤 健先生をお招きし、GI CANCER FORUM IN GIFUが行われました。

基調講演では、岐阜大学大学院 低侵襲がん集学的治療学講座 教授 山口和弘先生が司会をされ、当科の助教 棚橋利行先生と講師 田中善宏先生に講演いただきました。



基調講演 司会

岐阜大学大学院 低侵襲がん集学的治療学講座 山口和弘 教授



基調講演 演者①

『当科におけるアブラキサンの使用経験』

岐阜大学大学院 腫瘍外科 助教 棚橋利行 先生



基調講演 演者②

『当科での食道癌治療の過去10年の成績』

岐阜大学大学院 腫瘍外科 講師 田中善宏 先生

棚橋利行先生は『当科におけるアブラキサンの使用経験』のテーマで、胃癌治療ガイドラインにおけるアブラキサンの位置づけや治療効果のエビデンス、そして当科での使用状況について症例提示を含めて話されました。

田中善宏先生は『当科での食道癌治療の過去10年の成績』のテーマで、10年間構築してきた食道癌治療の成果を、栄養管理・DVT対策・周術期管理の観点から話されました。

特別講演では、岐阜大学医学部附属病院長・腫瘍外科 吉田和弘教授が司会をされ、国立がん研究センター中央病院 消化管内科医長 加藤 健先生に御講演いただきました。



特別講演 司会

岐阜大学医学部附属病院長・腫瘍外科 吉田和弘 教授



特別講演

国立がん研究センター中央病院 消化管内科医長 加藤 健先生

加藤 健先生には『胃癌食道癌化学療法の最近のトピックス』のテーマで御講演いただきました。食道癌の化学療法のトピックスとして、臨床試験を紹介いただき免疫療法の1次治療や2次治療のみならず、NACとしての可能性をお話しされました。また、NACやCRTなど術前治療の工夫や根治的CRT、化学療法時の制吐剤の使用についてもお話しいただきました。胃癌については、進行再発胃癌の化学療法のトピックスとして、免疫療法を中心に、現在進行中の臨床試験や治療効果予測因子、Cancer immunity cycleといった話題について説明いただきました。また、胃癌術後補助化学療法のトピックスとしてSTART-2試験の結果をお示しいただきました。最近のトピックスについて大変わかりやすくお話しいただき、今後は上部消化管癌に対して免疫チェックポイント阻害剤が中心とした治療の検討が進むと思われる、またTAS102をはじめとした薬剤の可能性も感じました。

謝辞

加藤 健先生には、平日の夜にも関わらず、御多忙のなか岐阜の地で御講演いただきました誠にありがとうございました。医局一同、心より感謝申し上げます。



ご案内

- ▶ [トップページ](#)
- ▶ [教授挨拶](#)
- ▶ [教室紹介](#)
- ▶ [診療内容](#)
- ▶ [外来担当表](#)
- ▶ [セカンドオピニオン](#)
- ▶ [研究課題](#)
- ▶ [臨床試験](#)
- ▶ [業績](#)
- ▶ [研修・入局案内](#)
- ▶ [関連病院紹介](#)
- ▶ [スタッフ紹介](#)
- ▶ **教室日記**
- ▶ [2022年](#)
- ▶ [2021年](#)
- ▶ [2020年](#)
- ▶ [2019年](#)
- ▶ [2018年](#)
- ▶ [2017年](#)
- ▶ [2016年](#)
- ▶ [2015年](#)
- ▶ [2014年](#)
- ▶ [2013年](#)
- ▶ [2012年](#)
- ▶ [2011年](#)
- ▶ [2010年](#)
- ▶ [2009年](#)
- ▶ [2008年](#)
- ▶ [2007年](#)
- ▶ [オプトアウト対象の臨床研究](#)
- ▶ [寄付講座](#)
- ▶ [同門会](#)



- [岐阜大学医学部](#)
- [岐阜大学医学部附属病院](#)
- [岐阜大学医学部附属病院がんセンター](#)
- [岐阜大学医学部附属病院外科](#)

▼ 教室日記

[トップページ](#) > [教室日記](#) > [食道アカラシアの手術治療について](#)

食道アカラシアの手術治療について

投稿日：2018年9月11日（火）

[食道外科の「食道アカラシアの手術治療」をアップしました。](#)

岐阜大学腫瘍外科では食道アカラシアに対して、腹腔鏡を用いた低侵襲手術を行っております。

食道アカラシアでお困りの患者様はご相談ください。

[▲ページの先頭へ戻る](#)

▼ **ご案内**

- ▶ トップページ
- ▶ 教授挨拶
- ▶ 教室紹介
- ▶ 診療内容
- ▶ 外来担当表
- ▶ セカンドオピニオン
- ▶ 研究課題
- ▶ 臨床試験
- ▶ 業績
- ▶ 研修・入局案内
- ▶ 関連病院紹介
- ▶ スタッフ紹介
- ▶ **教室日記**

2022年
 2021年
 2020年
 2019年
 2018年
 2017年
 2016年
 2015年
 2014年
 2013年
 2012年
 2011年
 2010年
 2009年
 2008年
 2007年

- ▶ オプトアウト対象の臨床研究
- ▶ 寄付講座
- ▶ 同門会



- [岐阜大学医学部](#)
- [岐阜大学医学部附属病院](#)
- [岐阜大学医学部附属病院がんセンター](#)
- [岐阜大学医学部附属病院外科](#)

▼ **教室日記**

トップページ > 教室日記 > Gastric Cancer Cutting Edge in Gifuが開催されました

Gastric Cancer Cutting Edge in Gifuが開催されました

投稿日：2018年8月29日（水）



2018年8月29日に九州大学大学院医学研究院 九州連携臨床腫瘍学講座 馬場英司教授と名古屋大学大学院医学系研究科消化器外科学 小寺泰弘教授をお招きし、Gastric Cancer Cutting Edge in Gifuが行われました。

特別講演①では、岐阜大学大学院医学系研究科消化器病態学 清水雅仁教授が司会をされ、九州大学大学院医学研究院 九州連携臨床腫瘍学講座 馬場英司教授に御講演いただきました。



特別講演① 司会 岐阜大学大学院消化器病態学 清水雅仁 教授



特別講演① 九州大学大学院医学研究院 九州連携臨床腫瘍学講座 馬場英司 教授

馬場英司教授には『切除不能進行・再発胃癌 化学療法の現状と展望』のテーマで御講演いただきました。馬場先生は日本胃癌のガイドライン作成委員長を務められており、切除不能進行・再発胃癌の化学療法の現状について、様々な臨床試験に基づいたエビデンスを分かりやすくまとめていただきました。また、分子標的薬や免疫チェックポイント阻害剤など、今後の展望をお話いただきました。

特別講演②では、岐阜大学医学部附属病院長・腫瘍外科 吉田和弘教授が司会をされ、名古屋大学大学院医学系研究科消化器外科学 小寺泰弘教授に御講演いただきました。



特別講演② 司会 岐阜大学医学部附属病院長・腫瘍外科 吉田和弘 教授



特別講演② 名古屋大学大学院医学系研究科消化器外科学 小寺泰弘 教授

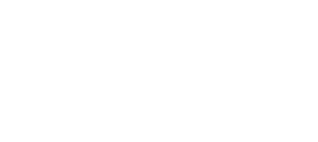
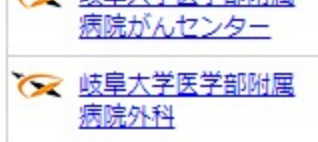
小寺泰弘教授には『半端者の考える胃癌の手術と集学的治療』のテーマで御講演いただきました。外科医の日常診療での多忙さ・守備範囲の広さ、しかしそれ故に分かる胃癌の集学的治療のポイントについてお話いただきました。基礎から臨床まで幅広く、外科医の視点から御講演いただきました。

謝辞 馬場英司教授、小寺泰弘教授には、ご多忙のなか岐阜の地で御講演していただき誠にありがとうございました。医局一同、心より感謝申し上げます。



ご案内

- ▶ トップページ
- ▶ 教授挨拶
- ▶ 教室紹介
- ▶ 診療内容
- ▶ 外来担当表
- ▶ セカンドオピニオン
- ▶ 研究課題
- ▶ 臨床試験
- ▶ 業績
- ▶ 研修・入局案内
- ▶ 関連病院紹介
- ▶ スタッフ紹介
- ▶ 教室日記



教室日記

トップページ > 教室日記 > がんリレー講座を開催しました

がんリレー講座を開催しました

投稿日：2018年8月4日（土）



2018年8月4日、岐阜県図書館にてがんリレー講座を開催しました。

この県民講座は、小学生親子や、一般（特に女性）を対象に、**1.がんを知る 2.がんを学ぶ 3.がんを知る** の3部構成で行いました。当日は多くの県民の皆さんにご参加いただきました。

1. がんを知る 岐阜大学医学部の先生とがん経験者による講演を行いました。

前半の部（小学生・一般向け）



①「がん」ってなんだろう？

岐阜大学医学部附属病院院長・腫瘍外科 吉田和弘 教授



②「がんにならないために、なってもなおるために」

岐阜大学腫瘍外科 田中善宏 講師



③小児がんの話

岐阜大学小児科 深尾敏幸 教授



④お母さんは子宮がん検診を受けていますか？

岐阜大学産婦人科 森重健一郎 教授



⑤がんの体験談

日本がん・生殖医療学会理事 阿南里恵さん

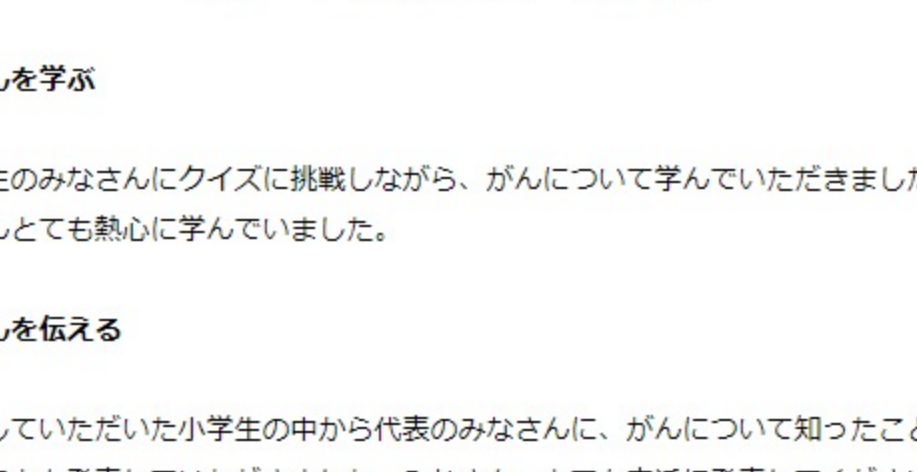
2.がんを学ぶ

小学生のみなさんにクイズに挑戦しながら、がんについて学んでいただきました。みなさんとても熱心に学んでいました。

3.がんを伝える

参加していただいた小学生の中から代表のみなさんに、がんについて知ったこと、学んだことを発表していただきました。みなさん、とても立派に発表してくださいました。

さらに、「大丈夫だよ、がんぼうろ！」のテーマでタレントの山田邦子さんに講演いただきました。ご自身の体験も交えながら、終始笑いに包まれたトークショーで、参加者一同、免疫力がアップしました。



ご参加いただきました県民の皆さん、本当にありがとうございました。がんに対する正しい知識、がんの予防の取り組み、健康と命の大切さについて、県民の皆さまに少しでもご理解していただけたら幸いです。

文責 事務局長 田中善宏

ホームページ委員 今井健晴

ご案内

- ▶ トップページ
- ▶ 教授挨拶
- ▶ 教室紹介
- ▶ 診療内容
- ▶ 外来担当表
- ▶ セカンドオピニオン
- ▶ 研究課題
- ▶ 臨床試験
- ▶ 業績
- ▶ 研修・入局案内
- ▶ 関連病院紹介
- ▶ スタッフ紹介
- ▶ 教室日記**
- ▶ 2022年
- ▶ 2021年
- ▶ 2020年
- ▶ 2019年
- ▶ 2018年
- ▶ 2017年
- ▶ 2016年
- ▶ 2015年
- ▶ 2014年
- ▶ 2013年
- ▶ 2012年
- ▶ 2011年
- ▶ 2010年
- ▶ 2009年
- ▶ 2008年
- ▶ 2007年
- ▶ オプトアウト対象の臨床研究
- ▶ 寄付講座
- ▶ 同門会



- 岐阜大学医学部
- 岐阜大学医学部附属病院
- 岐阜大学医学部附属病院がんセンター
- 岐阜大学医学部附属病院外科

教室日記

トップページ > 教室日記 > Meet the Expert Seminar in Gifuが開催されました

Meet the Expert Seminar in Gifuが開催されました

投稿日：2018年7月19日（木）



2018年7月19日にがん研有明病院消化器センター大腸外科医長の小西 毅先生をお招きし、Meet the Expert Seminar in Gifuが行われました。

Opening Remarksとして、岐阜大学消化器病態学 清水雅仁教授にご挨拶をいただきました。



岐阜大学消化器病態学 清水雅仁教授

Lectureでは、松浪総合病院 外科第一部長の關野考史先生が司会をされ、当科の高橋孝夫先生が『大腸癌薬物療法の最新TOPICS』のテーマで最近の大腸化学療法のトピックスについて講演されました。



Lecture 高橋孝夫 先生

右側と左側大腸癌での分子標的薬の使い分け、そしてFOLFOXIRI療法の登場によって今まで以上にConversion Surgeryへつなげる症例が増えてきていることを講演されました。また併せてConversion症例の良好な予後を提示され、改めて大腸癌において化学療法と手術治療の組み合わせが大切であることをお話されました。

Special Lectureでは、岐阜大学腫瘍外科 吉田和弘教授が司会をされ、『直腸癌に対する低侵襲外科治療の最前線』というテーマで、がん研有明病院消化器センター大腸外科医長の小西 毅先生に腹腔鏡下大腸癌手術の最前線について御講演いただきました。



Special Lecture 司会 吉田和弘 教授



Special Lecture 小西 毅 先生

剥離面と腫瘍までのmarginが予後に影響を与えることを示され、術前評価の重要さと症例に応じて切除ラインを選択して治療する必要をお話されました。また腹腔鏡による骨盤内蔵全摘や骨盤内の緻密な解剖理解による超低位前方切除やISRのビデオを示され、非常に美しい手術を見せていただきました。

最後はCRT後のwatch and wait療法という新しい治療概念をしめされ、今後の直腸がん治療の可能性を教えていただきました。

謝辞 小西 毅先生には、ご多忙の中、岐阜の地で御講演していただき誠にありがとうございました。大変貴重な機会となり医局一同、心より感謝申し上げます。

文責 深田真宏、今井健晴

- ◎ [ご案内](#)
- ▶ [トップページ](#)
- ▶ [教授挨拶](#)
- ▶ [教室紹介](#)
- ▶ [診療内容](#)
- ▶ [外来担当表](#)
- ▶ [セカンドオピニオン](#)
- ▶ [研究課題](#)
- ▶ [臨床試験](#)
- ▶ [業績](#)
- ▶ [研修・入局案内](#)
- ▶ [関連病院紹介](#)
- ▶ [スタッフ紹介](#)
- ▶ [教室日記](#)
- ▶ [2022年](#)
- ▶ [2021年](#)
- ▶ [2020年](#)
- ▶ [2019年](#)
- ▶ [2018年](#)
- ▶ [2017年](#)
- ▶ [2016年](#)
- ▶ [2015年](#)
- ▶ [2014年](#)
- ▶ [2013年](#)
- ▶ [2012年](#)
- ▶ [2011年](#)
- ▶ [2010年](#)
- ▶ [2009年](#)
- ▶ [2008年](#)
- ▶ [2007年](#)
- ▶ [オプアウト対象の臨床研究](#)
- ▶ [寄付講座](#)
- ▶ [同門会](#)



-  [岐阜大学医学部](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院がんセンター](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院外科](#)

▼ 教室日記

トップページ > 教室日記 > 第8回KGPSが開催されました

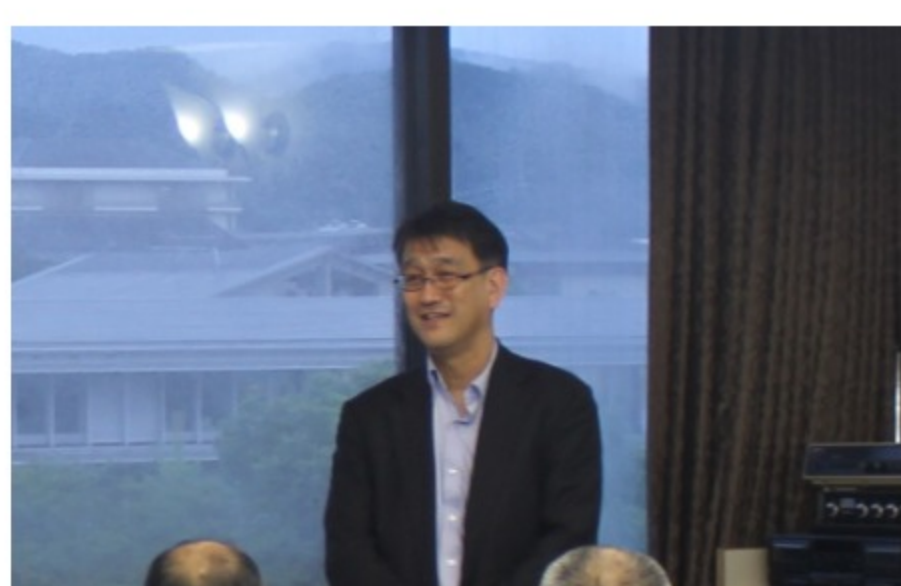
第8回KGPSが開催されました

投稿日：2018年7月 6日（金）

2018年7月6日に京都にて第8回京都岐阜小児外科カンファレンス（KGPS）が開催されました。

会場：KKR京都くに荘

今回は西日本豪雨の影響で吉田和弘教授は病院長災害業務のため急遽岐阜に帰郷され、また多くの交通機関の乱れも影響し出席できなくなった先生方がおられる中での開催となりました。世話人は拡大世話人会として田尻教授および文野先生の司会のもとに行われました。またカンファレンスから参加できる先生方も多くおられたため、懇親会会場のKKR京都くに荘で行うこととなりました。



開会挨拶 京都府立医科大学小児外科 田尻達郎教授



一般演題 座長

大阪医科大学小児外科 富山英紀先生

岐阜大学腫瘍外科（小児外科）加藤充純先生



予定の6演題から計4題の発表となりましたが、どれも興味深い内容の発表で、いつもKGPS以上に活発な議論がなされ、大変有意義な時間となりました。



懇親会の最後は、毎年恒例となった京都府立医大小児外科、岐阜大学小児科、岐阜大学腫瘍外科からそれぞれ宴会も披露されました。また二次会も用意していただき、例年になく大変盛り上がったKGPSとなりました。

追記：今回KGPS記念号が発刊され、この会に重なり記念号の紹介がありました。KGPSの歴史の詰まった冊子が完成したこと感慨ぶ深いものがあります。加藤充純先生も新たに岐阜大学腫瘍外科に加わって頂き、さらに京都府立医大小児外科と未永いお付き合いをさせて頂き、岐阜県の小児外科医療の充実に寄与できればと思います。

次回は2019年8月に岐阜で開催予定です。皆様のご参加をお待ちしております。

文責：坂野慎哉、松橋延壽

◎ **ご案内**

- ▶ [トップページ](#)
- ▶ [教授挨拶](#)
- ▶ [教室紹介](#)
- ▶ [診療内容](#)
- ▶ [外来担当表](#)
- ▶ [セカンドオピニオン](#)
- ▶ [研究課題](#)
- ▶ [臨床試験](#)
- ▶ [業績](#)
- ▶ [研修・入局案内](#)
- ▶ [関連病院紹介](#)
- ▶ [スタッフ紹介](#)
- ▶ **教室日記**
- ▶ [2022年](#)
- ▶ [2021年](#)
- ▶ [2020年](#)
- ▶ [2019年](#)
- ▶ [2018年](#)
- ▶ [2017年](#)
- ▶ [2016年](#)
- ▶ [2015年](#)
- ▶ [2014年](#)
- ▶ [2013年](#)
- ▶ [2012年](#)
- ▶ [2011年](#)
- ▶ [2010年](#)
- ▶ [2009年](#)
- ▶ [2008年](#)
- ▶ [2007年](#)
- ▶ [オプトアウト対象の臨床研究](#)
- ▶ [寄付講座](#)
- ▶ [同門会](#)



- ▶ [岐阜大学医学部](#)
- ▶ [岐阜大学医学部附属病院](#)
- ▶ [岐阜大学医学部附属病院がんセンター](#)
- ▶ [岐阜大学医学部附属病院外科](#)

▼ **教室日記**

トップページ > 教室日記 > 近石 専攻医が第230回岐阜外科集談会にて若手奨励賞を受賞しました

近石 専攻医が第230回岐阜外科集談会にて若手奨励賞を受賞しました

投稿日：2018年6月30日（土）



2018年6月30日に岐阜大学医学部記念会館にて第230回岐阜外科集談会が開催されました。

当科の近石和花菜 専攻医が若手奨励賞を受賞しました。

演題名：『免疫チェックポイント阻害薬使用経過中に大腸穿孔をきたした一例』



演者 近石和花菜 専攻医



座長 安福 至 助教

今後のますますの活躍を期待いたします。

特別講演では、岩手医科大学医学部緩和医療学科 特任教授 木村祐輔先生から『緩和ケアにおける外科医の役割』について講演されました。外科医の立場から御講演いただき、緩和ケアにおいて外科医が果たすべき役割は大きく、大変勉強になりました。



- ▼ ご案内
- ▶ トップページ
- ▶ 教授挨拶
- ▶ 教室紹介
- ▶ 診療内容
- ▶ 外来担当表
- ▶ セカンドオピニオン
- ▶ 研究課題
- ▶ 臨床試験
- ▶ 業績
- ▶ 研修・入局案内
- ▶ 関連病院紹介
- ▶ スタッフ紹介
- ▶ 教室日記
- 2022年
- 2021年
- 2020年
- 2019年
- 2018年
- 2017年
- 2016年
- 2015年
- 2014年
- 2013年
- 2012年
- 2011年
- 2010年
- 2009年
- 2008年
- 2007年
- ▶ オプトアウト対象の臨床研究
- ▶ 寄付講座
- ▶ 同門会



- 岐阜大学医学部
- 岐阜大学医学部附属病院
- 岐阜大学医学部附属病院がんセンター
- 岐阜大学医学部附属病院外科

▼ 教室日記

トップページ > 教室日記 > 腫瘍外科特別講演会（北島政樹先生）

腫瘍外科特別講演会（北島政樹先生）

投稿日：2018年6月27日（水）



平成30年6月27日に国際医療福祉大学名誉学長・副理事長 北島政樹先生をお迎えし、特別講演会を開催しました。腫瘍外科のみでなく、産婦人科、高度先進外科、放射線科、救急部などの多くの診療科のベテラン医師および若手医師が参加頂きました。さらには多くの看護師長、事務の方など多くの他職種の方にも参加頂き、合計60名の参加となり、多目的ホールが立ち見となるほどの講演会でした。

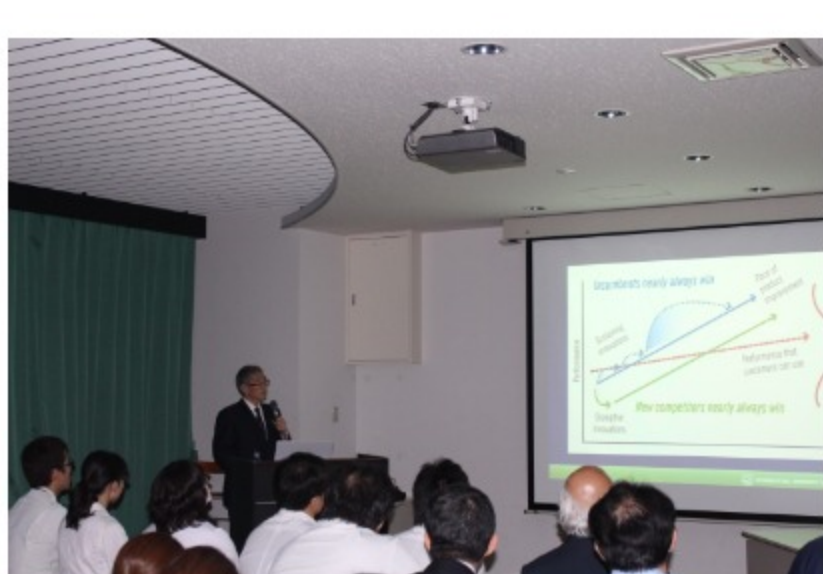


司会 吉田和弘教授



国際医療福祉大学名誉学長・副理事長 北島政樹先生

御講演のタイトルは『外科学の将来展望-過去・現在・未来』でした。低侵襲手術・臓器移植・外科腫瘍学の各分野を切り拓いてこられた消化器外科の第一人者である北島先生であり、皆熱心に聞き入っていました。



慶応大学の伝統と文化を背景とした圧倒的な御講演に驚嘆するとともに、大変勉強になりました。上に立つものとして心構えである、ビジョンとHW（ハード・ワーク）が重要であることを講演および日頃の北島先生からの姿勢で伺える御講演でした。



大変お忙しい中、岐阜の地で御講演いただき、北島政樹先生に医局一同心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。



ご案内

トップページ

教授挨拶

教室紹介

診療内容

外来担当表

セカンドオピニオン

研究課題

臨床試験

業績

研修・入局案内

関連病院紹介

スタッフ紹介

教室日記

2022年

2021年

2020年

2019年

2018年

2017年

2016年

2015年

2014年

2013年

2012年

2011年

2010年

2009年

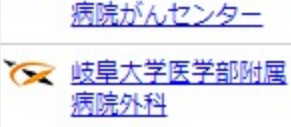
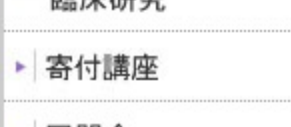
2008年

2007年

オプアウト対象の臨床研究

寄付講座

同門会

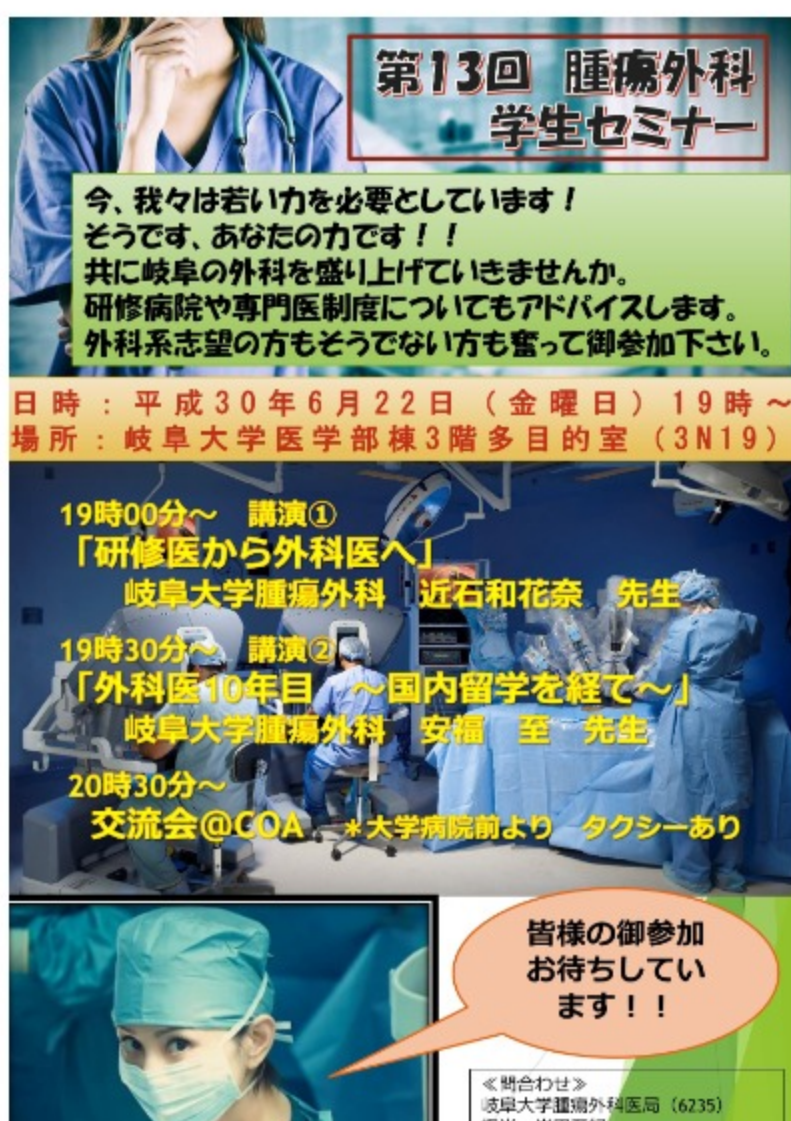


教室日記

トップページ > 教室日記 > 第13回 腫瘍外科 学生セミナー

第13回 腫瘍外科 学生セミナー

投稿日：2018年6月22日 (金)



平成30年6月22日(金曜)に医学部6年生対象の「第13回 腫瘍外科 学生セミナー」を開催しました。

腫瘍外科に興味のある13名の6年生が参加してくれました。



吉田和弘教授からご挨拶をいただきました



講演①「研修医から外科医へ」 近石和花奈先生



講演②「外科医10年目 ～国内留学を経て～」 安福 至先生



松橋延壽先生から腫瘍外科、外科研修プログラムについて説明いただきました



多くの方が県内での研修希望で、外科に興味をもって来ていました。演者の先生のお話を熱心に聞いていました。



交流会では、関連病院の先生方とも話す機会ができ、腫瘍外科と大学での初期研修の魅力が伝わったのではないかと思います。

初期研修プログラムには、大学病院2年間のプログラムはもちろん、大学病院と関連病院とのたすき掛けのプログラムもあります。きっと学生の皆さんの期待に応えられる研修となるはずです。学生のみなさん、ぜひ外科医として一緒に活躍しましょう！



ご案内

トップページ

教授挨拶

教室紹介

診療内容

外来担当表

セカンドオピニオン

研究課題

臨床試験

業績

研修・入局案内

関連病院紹介

スタッフ紹介

教室日記

2022年

2021年

2020年

2019年

2018年

2017年

2016年

2015年

2014年

2013年

2012年

2011年

2010年

2009年

2008年

2007年

オプトアウト対象の臨床研究

寄付講座

同門会



- 岐阜大学医学部
- 岐阜大学医学部附属病院
- 岐阜大学医学部附属病院がんセンター
- 岐阜大学医学部附属病院外科

教室日記

トップページ > 教室日記 > 末次 助教が第61回関西胸部外科学会学術集会にてCase Presentation Awardを受賞しました

末次 助教が第61回関西胸部外科学会学術集会にてCase Presentation Awardを受賞しました

投稿日：2018年6月21日（木）

2018年6月21-22日に名古屋国際会議場にて第61回関西胸部外科学会学術集会が開催されました。

当科の末次智成 助教がCase Presentation Awardを受賞しました。



演題名：『咽・喉頭食道摘出術後難治性乳糜胸腹水に対してリンパ管造影を施行し保存的に治療し得た1例』



今後のますますの活躍を期待いたします。

▲ページの先頭へ戻る

- ▼ [ご案内](#)
- ▶ [トップページ](#)
- ▶ [教授挨拶](#)
- ▶ [教室紹介](#)
- ▶ [診療内容](#)
- ▶ [外来担当表](#)
- ▶ [セカンドオピニオン](#)
- ▶ [研究課題](#)
- ▶ [臨床試験](#)
- ▶ [業績](#)
- ▶ [研修・入局案内](#)
- ▶ [関連病院紹介](#)
- ▶ [スタッフ紹介](#)
- ▶ [教室日記](#)
- ▶ [2022年](#)
- ▶ [2021年](#)
- ▶ [2020年](#)
- ▶ [2019年](#)
- ▶ [2018年](#)
- ▶ [2017年](#)
- ▶ [2016年](#)
- ▶ [2015年](#)
- ▶ [2014年](#)
- ▶ [2013年](#)
- ▶ [2012年](#)
- ▶ [2011年](#)
- ▶ [2010年](#)
- ▶ [2009年](#)
- ▶ [2008年](#)
- ▶ [2007年](#)
- ▶ [オプトアウト対象の臨床研究](#)
- ▶ [寄付講座](#)
- ▶ [同門会](#)



-  [岐阜大学医学部](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院がんセンター](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院外科](#)

▼ 教室日記

トップページ > 教室日記 > 腫瘍外科特別講演会(タイ・チェンマイ大学Sumitra先生)

腫瘍外科特別講演会(タイ・チェンマイ大学Sumitra先生)

投稿日：2018年6月18日 (月)

岐阜大学腫瘍外科 特別講演会

腫瘍内科医、呼吸器内科医としてご活躍されている
Sumitra Thongprasert 先生より
「タイの腫瘍内科の現状」と「近年の肺がん治療の進歩」
の内容で御講演いただく予定です。

日時:平成 30年 6月 18日(月曜日)19時~19時
場所:岐阜大学病院 1F「多目的ホール」

司会:岐阜大学大学院医学系研究科 腫瘍外科学分野 教授
吉田 和弘 先生

演者:
 Sumitra Thongprasert 先生
チェンマイ大学医学部名誉教授(タイ)
Emeritus Professor at the Faculty of Medicine, Chiang Mai University, Thailand

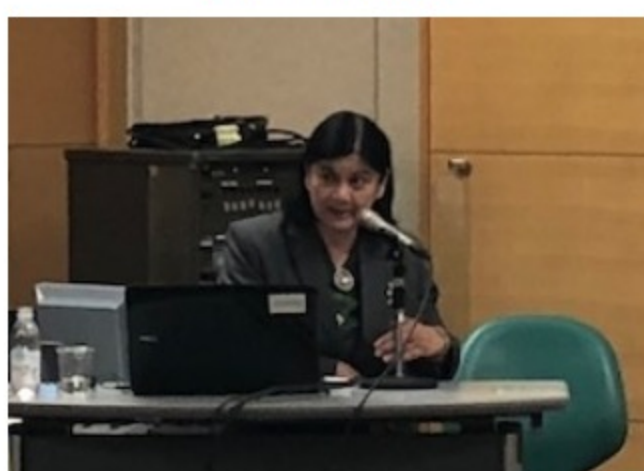
タイトル
① Medical Oncology in Thailand
② Progress in Lung Cancer treatment within the last two decades

腫瘍外科腫瘍外科 医局 058-230-9225

平成30年6月18日に、Sumitra Thongprasert先生（タイ・チェンマイ大学医学部名誉教授）をお迎えし、特別講演会を開催しました。Sumitra先生は、腫瘍内科医、呼吸器内科医としてご活躍されており、「タイの腫瘍内科の現状」と「近年の肺がん治療の進歩」について御講演いただきました。



司会 吉田和弘教授



Sumitra Thongprasert先生



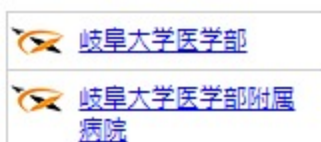
平日にもかかわらず、当科だけでなく、呼吸器内科や呼吸器外科、研修医の先生方、そして院外から同門の先生方も参加してくださいました。会場からの質問も活発に行われました。



遠く岐阜の地で貴重な御講演をいただき、誠にありがとうございました。Sumitra Thongprasert先生に、医局員一同、心より感謝申し上げます。



◎ ご案内
▶ トップページ
▶ 教授挨拶
▶ 教室紹介
▶ 診療内容
▶ 外来担当表
▶ セカンドオピニオン
▶ 研究課題
▶ 臨床試験
▶ 業績
▶ 研修・入局案内
▶ 関連病院紹介
▶ スタッフ紹介
▶ 教室日記
2022年
2021年
2020年
2019年
2018年
2017年
2016年
2015年
2014年
2013年
2012年
2011年
2010年
2009年
2008年
2007年
▶ オプトアウト対象の臨床研究
▶ 寄付講座
▶ 同門会



- 岐阜大学医学部
- 岐阜大学医学部附属病院
- 岐阜大学医学部附属病院がんセンター
- 岐阜大学医学部附属病院腫瘍外科

教室日記

トップページ > 教室日記 > 第3回ハンガリー・日本・ポーランド外科学会

第3回ハンガリー・日本・ポーランド外科学会

投稿日：2018年6月10日 (日)

第3回ハンガリー・日本・ポーランド外科学会 (第8回日本・ハンガリー外科学会)

Third Triangle Scientific Meeting of the Japan-Hungary-Poland Surgical Society

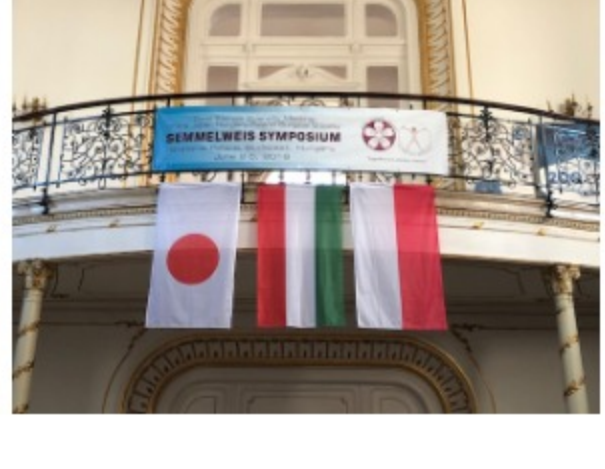
Budapest, June 3-5, 2018



2018年6月3日～5日の3日間、ハンガリーの首都ブダペストにて、第3回ハンガリー・日本・ポーランド外科学会 (第8回日本・ハンガリー外科学会) が開催されました。国際医療福祉大学 北島政樹名誉学長がCo-Presidentを務められ、今大会は主幹のSemmelweis Universityの名の由来であるIgnac Semmelweis医師の生誕200年を記念し、SEMMEWEIS SYMPOSIUMの大会名で、Clean hands save lifeの大会テーマのもと開催されました。Stefania Palaceという歴史ある会場で、雄大でありながらアットホームな雰囲気の中開催されました。



吉田和弘教授の御高配を賜り、当科からは松橋延壽先生、徳丸剛久先生、そして今井健晴の3人が参加させていただきました。



本大会は、記念講演をはじめ、OralセッションとPosterセッションから構成されてきました。食道から大腸、肝胆膵、乳腺等の各外科領域の良性・悪性疾患問わず最新の診断から治療法、そして臨床・基礎研究まで各施設の成果が報告されました。Military surgeryやBariatric surgeryなどのテーマもあり、各国の医療事情がよく分かりました。

当科からは6つの演題を発表しました。

Nobuhisa Matsuhashi

Oral session
「Short and long outcome of laparoscopic low anterior resection for low rectal tumor」

Poster session
「Evaluation of sacral neuromodulation for fecal incontinence after rectal cancer」

Yoshihisa Tokumaru

Poster session
「MiR-143 induced cell growth suppression and changed chemosensitivity in breast cancer cells」
「RNA-helicase DDX6 positively regulates the translation of HER2 and FGFR2 in gastric cancer cells」

Takeharu Imai

Oral session
「Reconstruction using subtotal stomach in esophageal cancer surgery」

Poster session
「Conversion therapy for stage IV gastric cancer」

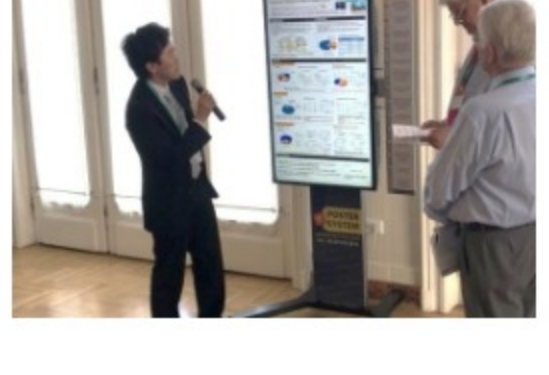
松橋先生は2012年のハンガリー大会から毎回参加されており、学会から市内の視察まで、全て導いて下さいました。また、今回、松橋先生はヨーロッパ内視鏡外科学会(ロンドン)に引き続いての発表で、お手本となる発表を見させていただき大変勉強になりました。



徳丸先生は現在進行中の自身の基礎研究について多くのデータをわかりやすくまとめられ、流暢な英語で発表されておりました。



海外発表が初めての小生にとって、松橋先生、徳丸先生に同行できたことは大変心強く、2演題とも思い切って発表できました。

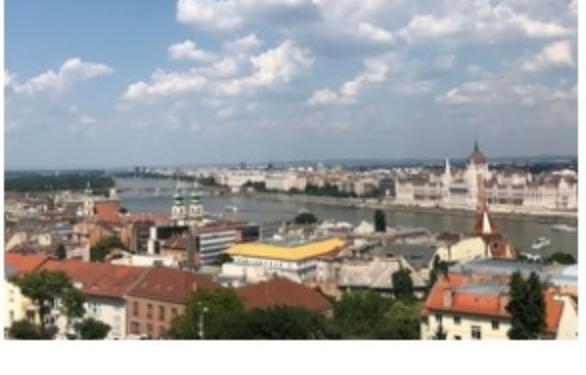


最終日には全員参加のディナーパーティーが開催され、日本の先生方や海外の先生方とも話す機会があり、大変貴重な経験となりました。

ブダペストはドナウの真珠と呼ばれるとても美しい街でした。全日程で天候に恵まれ、松橋先生、徳丸先生とともにブダペストの文化にも触れることができました。

今回の経験を明日からの臨床に生かし、またこういった機会をいただけるよう頑張ろうと改めて感じました。

このような発表の機会を与えていただきました国際医療福祉大学 北島政樹先生、吉田和弘教授ならびに同門の先生方、出張中に病棟を全てお任せしていただきました食道チーム田中先生はじめ、医局員の皆さん、本当にありがとうございました。



文責：今井健晴



ご案内

トップページ

教授挨拶

教室紹介

診療内容

外来担当表

セカンドオピニオン

研究課題

臨床試験

業績

研修・入局案内

関連病院紹介

スタッフ紹介

教室日記

2022年

2021年

2020年

2019年

2018年

2017年

2016年

2015年

2014年

2013年

2012年

2011年

2010年

2009年

2008年

2007年

オプトアウト対象の臨床研究

寄付講座

同門会

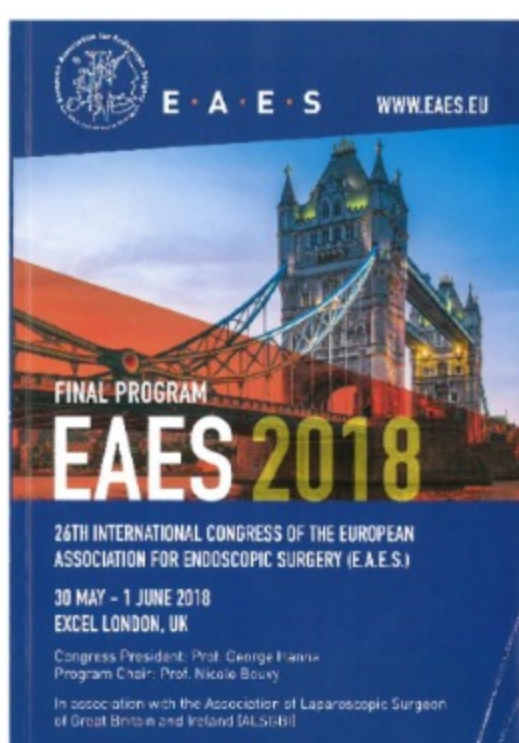


教室日記

トップページ > 教室日記 > EAES 2018

EAES 2018

投稿日：2018年6月 1日 (金)



EAES 2018 に参加して 松橋延壽

2016年 オランダ アムステルダムに引き継いで2年ぶりにEAES 2018 ロンドンに参加しました。今回の発表はEVALUATION OF LAPAROSCOPIC LOW ANTERIOR RESECTION FOR LOW RECTAL TUMOR: A SINGLE-CENTER SAFETY AND FEASIBILITY STUDY でした。

はじめてのロンドンのため楽しみで行くことになったが、入国審査でかなりの時間を要して出国から24時間以上かかっていたので入国であり、疲労困憊でホテルに着きました。ポスター発表であり今回は発表時間も与えられず残念であったが、会場で海外の方からも質問され有意義に過ごすことができました。また学会には多くの日本人の先生も来られておりましたが、観光などアフターも皆さん積極的に参加されていたようでした。内容に関しては大腸に関してはあまり目新しいものはなく少し残念な気がしましたが、やはり教育セッションなどはしっかりしており、内視鏡外科が今後ロボットおよびシュミレーション分野で大きく発展することが期待されると思われました。この後日本ハンガリーポーランド学会がハンガリーであり、後輩今井先生、徳丸先生のそれぞれ2題ずつ発表するため夜はスライド、ビデオ作りで気兼ねなく観光などでできず、少し残念でした。しかし海外の学会に参加することは毎年大きな刺激も得られ、日常臨床のモチベーションにもなるため今後も地道に臨床および研究に励み後輩とともに発表できればと思いました。

このような機会を与えて頂きました吉田教授に感謝申し上げます。



文責：平成8年卒 松橋延壽

- ご案内
- トップページ
- 教授挨拶
- 教室紹介
- 診療内容
- 外来担当表
- セカンドオピニオン
- 研究課題
- 臨床試験
- 業績
- 研修・入局案内
- 関連病院紹介
- スタッフ紹介
- 教室日記
- 2022年
- 2021年
- 2020年
- 2019年
- 2018年
- 2017年
- 2016年
- 2015年
- 2014年
- 2013年
- 2012年
- 2011年
- 2010年
- 2009年
- 2008年
- 2007年
- オプトアウト対象の臨床研究
- 寄付講座
- 同門会



教室日記

トップページ > 教室日記 > 第39回癌免疫外科研究会を開催しました

第39回癌免疫外科研究会を開催しました

投稿日：2018年5月18日（金）



日程：2018年5月17-18日

場所：岐阜都ホテル

第39回癌免疫外科研究会を当科 吉田和弘教授を当番世話人として開催しました。



本研究会は、前回からの継続主題「I.癌局所微小環境の細胞・分子メカニズム」に加え、新たに「II.Precision Medicine(精密医療)の精開け」を主題とし、Precision Medicineの実態や将来展望について議論していただける会として開催しました。

皆様からの貴重な研究成果をご応募いただき、本研究会では特別講演2題、ランチョンセミナー2題、イブニングセミナー1題、モーニングセミナー1題、主題演題24題、要旨演題30題、一般演題（口演32題、ポスター68題）の計160演題と過去最多の演題が集まりました。

【特別演題1（オープニングセミナー）】

司会：山口大学学長 岡 正朗 先生

「がん免疫サイクル」を考える

演者：川崎医科大学 腫床腫瘍学 山口佳之 教授

【特別講演2】

司会：静岡県立静岡がんセンター胃外科 寺島雅典 先生

「最新がん免疫療法の潮流と将来展望」

演者：山口大学大学院医学系研究科 免疫学講座 玉田耕治 教授

【教育講演（ランチョンセミナー1）】

司会：京都府立医科大学大学院 消化器外科学 大辻英吾 教授

「がん免疫治療のパラダイムシフト（消化器がんを中心に）」

演者：国立がん研究センター東病院 先端医療科 土井俊彦 先生

【教育講演（ランチョンセミナー2）】

司会：福岡市民病院外科 桑野博行 先生

「がん免疫療法の最前線」

演者：福島県立医科大学 消化器外科学講座 河野浩二 教授

【教育講演（イブニングセミナー）】

司会：大阪大学大学院 消化器外科 森 正樹 教授

「日本におけるがんゲノム医療基盤確立にむけて」

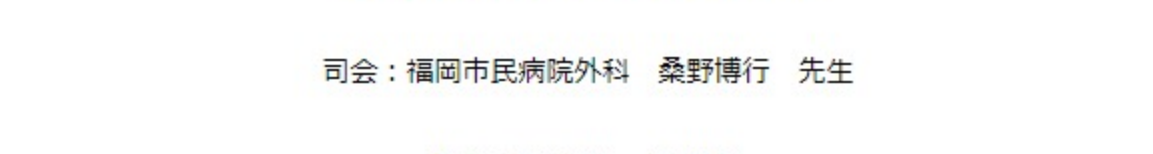
演者：国立がん研究センター 先端医療開発センター 土原一哉 先生

【教育講演（モーニングセミナー）】

司会：近畿大学医学部外科学 奥野清隆 教授

「肺癌切除困難症例への挑戦 -外科と免疫療法の融合に向けて-

演者：和歌山県立医科大学 外科学第2講座 山上裕樹 教授



「がん免疫治療のパラダイムシフト（消化器がんを中心に）」

演者：国立がん研究センター東病院 先端医療科 土井俊彦 先生

【教育講演（ランチョンセミナー2）】

司会：福岡市民病院外科 桑野博行 先生

「がん免疫療法の最前線」

演者：福島県立医科大学 消化器外科学講座 河野浩二 教授

【教育講演（イブニングセミナー）】

司会：大阪大学大学院 消化器外科 森 正樹 教授

「日本におけるがんゲノム医療基盤確立にむけて」

演者：国立がん研究センター 先端医療開発センター 土原一哉 先生

【教育講演（モーニングセミナー）】

司会：近畿大学医学部外科学 奥野清隆 教授

「肺癌切除困難症例への挑戦 -外科と免疫療法の融合に向けて-

演者：和歌山県立医科大学 外科学第2講座 山上裕樹 教授



特別講演や教育講演では日本のトップリーダーの先生がたから、癌治療における薬物療法の進歩、分子標的薬や免疫チェックポイント阻害剤の開発から最新の話までレクチャーしていただきました。一般演題では、各参加施設の研究成果が報告され、他施設の研究成果に、みな大変刺激を受けておりました。二日間にわたり、実臨床に役立つ知識の整理のみならず、次世代医療につながる積極的な議論が展開され、大変有意義な時間となりました。

前日には拡大代議員懇親会が行われました。



山口大学学長 岡 正朗先生より御挨拶をいただきました。



京都府地域医療支援センター長・京都府参与 山岸久一先生より御挨拶をいただきました。



岐阜大学腫瘍外科 佐治重豊名誉教授より御挨拶を頂きました。



大阪市立柏原病院総長 平川弘聖先生より御挨拶をいただきました。



第40回当番世話人の金沢大学消化器・腫瘍・再生外科学 太田哲生教授より御挨拶を頂きました。

第1日目の夜には、ウィーン岐島管弦楽団のみなさんによるミニコンサートが行われました。参加者の皆さん、その迫力に圧倒されました。



全員懇親会では、高賀山太鼓の演奏、Jazzバンドの演奏が行われました。

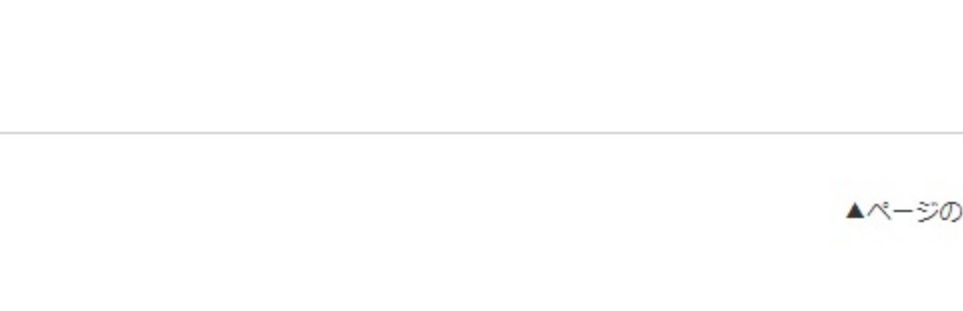


高賀山太鼓のみなさん。迫力のある演奏でした。



当科同門の渡辺敦先生と医学部軽音楽部Liebe Parzeの学生さんにJazz演奏していただきました。

参加者の皆さん、東の間のひと時を楽しまれ、明日への鋭気を養いました。



腫瘍外科の医局員と秘書の皆さんの企画・運営により、本研究会も盛況のうちに終了しました。多くの腫瘍外科同門の先生方の御協力により、無事終了することができたこと感謝申し上げます。

文責 事務局長 二村 孝

ホームページ係 今井健晴



ご案内

- ▶ [トップページ](#)
- ▶ [教授挨拶](#)
- ▶ [教室紹介](#)
- ▶ [診療内容](#)
- ▶ [外来担当表](#)
- ▶ [セカンドオピニオン](#)
- ▶ [研究課題](#)
- ▶ [臨床試験](#)
- ▶ [業績](#)
- ▶ [研修・入局案内](#)
- ▶ [関連病院紹介](#)
- ▶ [スタッフ紹介](#)
- ▶ [教室日記](#)
- ▶ [2022年](#)
- ▶ [2021年](#)
- ▶ [2020年](#)
- ▶ [2019年](#)
- ▶ [2018年](#)
- ▶ [2017年](#)
- ▶ [2016年](#)
- ▶ [2015年](#)
- ▶ [2014年](#)
- ▶ [2013年](#)
- ▶ [2012年](#)
- ▶ [2011年](#)
- ▶ [2010年](#)
- ▶ [2009年](#)
- ▶ [2008年](#)
- ▶ [2007年](#)
- ▶ [オプトアウト対象の臨床研究](#)
- ▶ [寄付講座](#)
- ▶ [同門会](#)



- [岐阜大学医学部](#)
- [岐阜大学医学部附属病院](#)
- [岐阜大学医学部附属病院がんセンター](#)
- [岐阜大学医学部附属病院外科](#)

▼ 教室日記

[トップページ](#) > [教室日記](#) > 2017年 辛夷巻頭言33巻を更新しました

2017年 辛夷巻頭言33巻を更新しました

投稿日：2018年5月 1日 (火)

[2017年 辛夷巻頭言33巻を更新しました。](#)

吉田教授のご挨拶と、同門会での講演「この1年できたこと、できなかったこと」を更新いたしました。

下記より、是非ご覧ください。

[ご挨拶](#)

[この1年できたこと、できなかったこと](#)

[▲ページの先頭へ戻る](#)

- [ご案内](#)
- [トップページ](#)
- [教授挨拶](#)
- [教室紹介](#)
- [診療内容](#)
- [外来担当表](#)
- [セカンドオピニオン](#)
- [研究課題](#)
- [臨床試験](#)
- [業績](#)
- [研修・入局案内](#)
- [関連病院紹介](#)
- [スタッフ紹介](#)
- [教室日記](#)
- [2022年](#)
- [2021年](#)
- [2020年](#)
- [2019年](#)
- [2018年](#)
- [2017年](#)
- [2016年](#)
- [2015年](#)
- [2014年](#)
- [2013年](#)
- [2012年](#)
- [2011年](#)
- [2010年](#)
- [2009年](#)
- [2008年](#)
- [2007年](#)
- [オプトアウト対象の臨床研究](#)
- [寄付講座](#)
- [同門会](#)



- [岐阜大学医学部](#)
- [岐阜大学医学部附属病院](#)
- [岐阜大学医学部附属病院がんセンター](#)
- [岐阜大学医学部附属病院外科](#)

▼ 教室日記

トップページ > 教室日記 > 第7回岐阜内視鏡外科塾を開催しました

第7回岐阜内視鏡外科塾を開催しました

投稿日：2018年4月14日（土）

第7回岐阜内視鏡外科塾
～若手医師を育成したより実技を重視して～

2018/04/14 [Sat] 12:00-16:00
内視鏡トレーニングセンター（本診療棟3F）

11:30～.....受付
12:00～.....製品説明会
12:15～13:15.....ビデオクリニック①
13:15～14:15.....ビデオクリニック②
14:15～14:30.....講義
14:30～15:30.....ビデオクリニック③
15:30～16:00.....質疑応答/次回予告

コーディネーター
松橋延壽 先生/岐阜大学腫瘍外科

司会
市川賢吾 先生/村上記念病院 コメンテーター
八橋和憲 先生/高山赤十字病院

講師
吉田和弘 先生/岐阜大学腫瘍外科 山口和也 先生/岐阜大学腫瘍外科
長村典樹 先生/岐阜市市民病院 坂下文夫 先生/水沢記念病院

遠隔指導
佐藤徳久 先生/岐阜県総合医療センター
孫田智仁 先生/岐阜県総合医療センター
上屋博 先生/岐阜市市民病院

ETHICON お問い合わせ:伊藤 貴之
ワンストップ研修プログラム(英) グラフィックカンパニー
TEL:052-563-6021 FAX:052-563-5022
E:ethicon15@ethicon.com

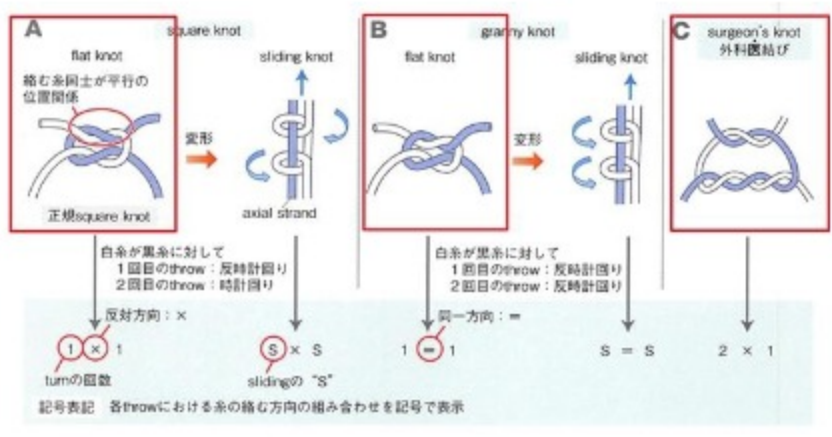


第7回岐阜内視鏡外科塾

4月14日に岐阜大学附属病院 内視鏡トレーニングセンターにおいて第7回岐阜内視鏡外科塾を行いました。関連施設含めて15名の若手医師が参加してくれました。また岐阜県総合医療センター佐藤先生、大垣徳洲会病院篠田先生などがビデオクリニックで発表してくれました。若手の先生も同年代の先生の手術ビデオを見て非常に刺激あるものとなり、質問も活発に行われました。

また糸結びの講習も行いました。

筋膜縫合用モノフィラメント縫合糸の適切な結び目はFlat Knotが推奨されるとされ、それをみんなで検証実験しました。



文責 平成8年卒 松橋延壽

▲ページの先頭へ戻る



ご案内

- ▶ トップページ
- ▶ 教授挨拶
- ▶ 教室紹介
- ▶ 診療内容
- ▶ 外来担当表
- ▶ セカンドオピニオン
- ▶ 研究課題
- ▶ 臨床試験
- ▶ 業績
- ▶ 研修・入局案内
- ▶ 関連病院紹介
- ▶ スタッフ紹介
- ▶ **教室日記**
- ▶ 2022年
- ▶ 2021年
- ▶ 2020年
- ▶ 2019年
- ▶ 2018年
- ▶ 2017年
- ▶ 2016年
- ▶ 2015年
- ▶ 2014年
- ▶ 2013年
- ▶ 2012年
- ▶ 2011年
- ▶ 2010年
- ▶ 2009年
- ▶ 2008年
- ▶ 2007年
- ▶ オブアウト対象の臨床研究
- ▶ 寄付講座
- ▶ 同門会



- 岐阜大学医学部
- 岐阜大学医学部附属病院
- 岐阜大学医学部附属病院がんセンター
- 岐阜大学医学部附属病院外科

教室日記

トップページ > 教室日記 > 岐阜外科DICフォーラム2018 が開催されました

岐阜外科DICフォーラム2018 が開催されました

投稿日：2018年4月12日（木）

岐阜外科DICフォーラム2018

日付 2018年4月12日（木）18:50～20:40
場所 岐阜都ホテル 2階 連 住所：岐阜市長良福光2695-2

【製品紹介】18:50～19:00 リコモジュリン点滴静注用12800 旭化成ファーマ株式会社

【開会の辞】19:00～19:05 岐阜大学大学院医学系研究科 高度先進外科学分野 教授 土井 潔 先生

【一般演題】19:05～19:35

座長

「当院におけるrTMの使用実績と薬剤師の立場から見た注意点」

岐阜市民病院 薬剤部 主任 福田 聖啓 先生

「初発時に癌性DIC併発していた切除不能S状結腸癌患者の1例」

岐阜県総合医療センター 外科 三井 範基 先生

「当院で経験した癌関連DIC治療成績」

岐阜大学医学部附属病院 第二外科 講師 田中 善宏 先生

大垣市民病院 外科部長 前田 敦行 先生

【特別講演】19:35～20:35

座長 岐阜大学大学院医学系研究科 腫瘍制御学講座 腫瘍外科学分野 教授 吉田 和弘 先生

「外科侵襲学と腫瘍学のクロストーク ～炎症・凝固異常とがん転移をめぐる～」

慶應義塾大学医学部 外科学 教授 北川 雄光 先生
慶應義塾大学病院 病院長

【閉会の辞】20:35～20:40 松波総合病院 理事長 松波 英寿 先生

* 会終了後に情報交換会の場合をご用意を致します。 主催：旭化成ファーマ株式会社

2018年4月12日に岐阜市民病院薬剤部 福田聖啓先生、岐阜県総合医療センター外科 三井範基先生、当科 田中善宏先生、そして慶應義塾大学医学部外科学教授 北川雄光先生をお招きし、岐阜外科DICフォーラム2018が行われました。

当日は岐阜県各病院の医師のみならず、医療スタッフの方々も多く参加いただき、急遽座席が増設されるほどの大盛況でした。みなさんのDIC治療への関心、そして北川教授の最前線の講演をお聞きしたいという思いがうかがわれました。

開会の辞として、岐阜大学高度先進外科学分野教授 土井 潔先生にご挨拶をいただきました。

一般演題 では、大垣市民病院外科部長 前田敦行先生が司会をされ、①岐阜市民病院薬剤部 福田聖啓先生に『当院におけるrTMの使用実績と薬剤師の立場から見た注意点』について、②岐阜県総合医療センター外科 三井範基先生に『初発時に癌性DIC併発していた切除不能S状結腸癌患者の1例』について、③当科 田中善宏先生に『当院で経験した癌関連DIC治療成績』について御発表いただきました。各施設で実際に経験した症例を提示していただき、癌性DICの発生頻度や治療状況、またそこから見えてきたrTMの可能性について検討していただきました。



福田聖啓先生 三井範基先生 田中善宏先生

特別講演では、岐阜大学大学院医学系研究科腫瘍外科学 吉田和弘教授が司会をされました。



特別講演 座長 吉田和弘教授



特別講演 北川雄光教授

特別講演では、『外科侵襲学と腫瘍学のクロストーク～炎症・凝固異常とがん転移をめぐる～』というテーマで、慶應義塾大学医学部外科学 北川雄光教授に御講演をいただきました。

まず、1990年代のMRSA out break、SIRSの概念の提唱といった日本の世界の外科侵襲学の歴史から、北川教授が敗血症と急性肺障害をテーマに研究された経緯をご紹介いただきました。そして、食道癌手術をはじめ、外科的合併症のみならず内科的合併症においても予後不良因子となり得ることがわかり、炎症・外科侵襲と癌転移や進行との関連が考えられました。その根拠として、IL-8やCXCL-8といったサイトカインのみならず、HMGB1やTreg、TGF-βといった様々な分子に着目して基礎実験をされた成果をお話いただきました。これらをふまえ、rTMや好中球エラスターゼ阻害剤の間接的（もしくは直接的）抗腫瘍効果が得られる可能性が示唆されました。炎症、侵襲、凝固異常、そして癌転移は敗血症の病態の中で密接に関わっている可能性が良くわかりました。大変膨大な基礎データや臨床データを大変わかりやすくお話しいただき、皆、理解が深まりました。

最後に閉会の辞として、松波総合病院 理事長 松波英寿先生にご挨拶をいただきました。

謝辞

日本のオピニオンリーダーであられる北川雄光教授に、大変ご多忙の中、岐阜の地で御講演していただき、大変貴重な機会となりました。誠にありがとうございました。医局一同、心より感謝申し上げます。

▼ **ご案内**

- ▶ [トップページ](#)
- ▶ [教授挨拶](#)
- ▶ [教室紹介](#)
- ▶ [診療内容](#)
- ▶ [外来担当表](#)
- ▶ [セカンドオピニオン](#)
- ▶ [研究課題](#)
- ▶ [臨床試験](#)
- ▶ [業績](#)
- ▶ [研修・入局案内](#)
- ▶ [関連病院紹介](#)
- ▶ [スタッフ紹介](#)
- ▶ **教室日記**
- ▶ [2022年](#)
- ▶ [2021年](#)
- ▶ [2020年](#)
- ▶ [2019年](#)
- ▶ [2018年](#)
- ▶ [2017年](#)
- ▶ [2016年](#)
- ▶ [2015年](#)
- ▶ [2014年](#)
- ▶ [2013年](#)
- ▶ [2012年](#)
- ▶ [2011年](#)
- ▶ [2010年](#)
- ▶ [2009年](#)
- ▶ [2008年](#)
- ▶ [2007年](#)
- ▶ [オプトアウト対象の臨床研究](#)
- ▶ [寄付講座](#)
- ▶ [同門会](#)



-  [岐阜大学医学部](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院がんセンター](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院外科](#)

▼ **教室日記**

トップページ > 教室日記 > 平成30年度 西8階病棟歓迎会を行いました

平成30年度 西8階病棟歓迎会を行いました

投稿日：2018年4月 9日 (月)

日時：平成30年4月9日 月曜日

場所：TRESOR

平成30年4月から新しく腫瘍外科・西8階病棟にこられた医師・看護師さんの歓迎会を行いました。

小児外科 加藤先生をはじめ医師6名、玉井師長さんをはじめ看護師7名が来られました。

4月から研修医で来られている岩井先生も参加いただきました。

【新たに迎えられた先生】

加藤充純 先生（平成9年卒 藤田保健衛生大学より）

安福 至 先生（平成21年卒 がん研究会有明病院より）

深田真宏 先生（平成22年卒 大垣徳洲会病院より）

畑中勇治 先生（平成26年卒 岐阜県総合医療センターより）

後藤亜也奈 先生（平成26年卒 岐阜市民病院より）

近石和花菜 先生（平成28年卒 当院臨床研修センターより）



小児外科 加藤充純先生



西8階病棟 新師長 玉井師長さん



また、サプライズで吉田和弘教授の誕生日（還暦）をお祝いさせていただきました。医局員一同、大変うれしく思いました。



平日の月曜日にも関わらず、医師、看護師さん、薬剤師さんをはじめたくさんの方々に参加いただきました。皆さん、今年度も一緒にがんばりましょう。



ご案内

- ▶ [トップページ](#)
- ▶ [教授挨拶](#)
- ▶ [教室紹介](#)
- ▶ [診療内容](#)
- ▶ [外来担当表](#)
- ▶ [セカンドオピニオン](#)
- ▶ [研究課題](#)
- ▶ [臨床試験](#)
- ▶ [業績](#)
- ▶ [研修・入局案内](#)
- ▶ [関連病院紹介](#)
- ▶ [スタッフ紹介](#)
- ▶ **教室日記**
- ▶ [2022年](#)
- ▶ [2021年](#)
- ▶ [2020年](#)
- ▶ [2019年](#)
- ▶ [2018年](#)
- ▶ [2017年](#)
- ▶ [2016年](#)
- ▶ [2015年](#)
- ▶ [2014年](#)
- ▶ [2013年](#)
- ▶ [2012年](#)
- ▶ [2011年](#)
- ▶ [2010年](#)
- ▶ [2009年](#)
- ▶ [2008年](#)
- ▶ [2007年](#)
- ▶ [オプトアウト対象の臨床研究](#)
- ▶ [寄付講座](#)
- ▶ [同門会](#)



- [岐阜大学医学部](#)
- [岐阜大学医学部附属病院](#)
- [岐阜大学医学部附属病院がんセンター](#)
- [岐阜大学医学部附属病院外科](#)

▼ 教室日記

[トップページ](#) > [教室日記](#) > [当科に「小児外科」が新設されました](#)

当科に「小児外科」が新設されました

投稿日：2018年4月 2日 (月)

[当科に小児外科が新設されました。](#)

下記につきまして、是非ご覧ください。

小児外科について
小児外科で扱う疾患

▲ページの先頭へ戻る

▼ **ご案内**

- ▶ トップページ
- ▶ 教授挨拶
- ▶ 教室紹介
- ▶ 診療内容
- ▶ 外来担当表
- ▶ セカンドオピニオン
- ▶ 研究課題
- ▶ 臨床試験
- ▶ 業績
- ▶ 研修・入局案内
- ▶ 関連病院紹介
- ▶ スタッフ紹介
- ▶ **教室日記**
- ▶ 2022年
- ▶ 2021年
- ▶ 2020年
- ▶ 2019年
- ▶ 2018年
- ▶ 2017年
- ▶ 2016年
- ▶ 2015年
- ▶ 2014年
- ▶ 2013年
- ▶ 2012年
- ▶ 2011年
- ▶ 2010年
- ▶ 2009年
- ▶ 2008年
- ▶ 2007年
- ▶ オプトアウト対象の臨床研究
- ▶ 寄付講座
- ▶ 同門会



-  [岐阜大学医学部](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院がんセンター](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院外科](#)

▼ **教室日記**

トップページ > 教室日記 > 岐阜がん包括マネジメントセミナー

岐阜がん包括マネジメントセミナー

投稿日：2018年3月29日（木）



2018年3月29日に神戸大学大学院医学研究科 内科学講座 腫瘍・血液内科学分野 教授 南 博信先生をお招きし、岐阜がん包括マネジメントセミナーが開催されました。

基調講演では岐阜県総合医療センター 副院長の國枝克行先生が司会をされ、当科の松橋延壽先生が『最近のがん疼痛治療の話題 ～当科における経験を踏まえて～』について講演されました。①担癌患者におけるDVT・VTE、②早期の緩和医療導入、③薬剤の代謝 CYP450代謝（CYP3A4/CYP2C9）を考慮した治療戦略について、臨床経験を踏まえてお話しいただきました。



座長 國枝克行先生



演者 松橋延壽先生

特別講演では当科の吉田和弘教授が司会をされました。



特別講演 座長 吉田和弘教授

特別講演では『がん患者におけるEBBM』というテーマで、神戸大学大学院医学研究科 内科学講座 腫瘍・血液内科学分野 南 博信教授に御講演をいただきました。



特別講演 南 博信教授

①Denosumabのエビデンス、特に乳がん、前立腺がんでのエビデンスが高く、その他肺がんや多発性骨髄腫でもZoledronateと比較しても非劣勢で有用であること

②癌の骨転移のマネージメントの戦略として痛みがあれば放射線治療も考慮されるが、有効な化学療法があるような例では放射線を選択するよりも化学療法とDenosumabの選択が良い可能性もあること

③溶骨、破骨性変化は問わず、リスクが有る場合には使用を考慮すること

など、エビデンスを重視した骨転移のマネージメントに関して、大変貴重な御講演をいただきました。

文責：末次智成、今井健晴



ご案内

- ▶ トップページ
- ▶ 教授挨拶
- ▶ 教室紹介
- ▶ 診療内容
- ▶ 外来担当表
- ▶ セカンドオピニオン
- ▶ 研究課題
- ▶ 臨床試験
- ▶ 業績
- ▶ 研修・入局案内
- ▶ 関連病院紹介
- ▶ スタッフ紹介
- ▶ 教室日記
- ▶ 2022年
- ▶ 2021年
- ▶ 2020年
- ▶ 2019年
- ▶ 2018年
- ▶ 2017年
- ▶ 2016年
- ▶ 2015年
- ▶ 2014年
- ▶ 2013年
- ▶ 2012年
- ▶ 2011年
- ▶ 2010年
- ▶ 2009年
- ▶ 2008年
- ▶ 2007年
- ▶ オプトアウト対象の臨床研究
- ▶ 寄付講座
- ▶ 同門会



- 岐阜大学医学部
- 岐阜大学医学部附属病院
- 岐阜大学医学部附属病院がんセンター
- 岐阜大学医学部附属病院外科

教室日記

トップページ > 教室日記 > 西8階 送別会を行いました

西8階 送別会を行いました

投稿日: 2018年3月28日 (水)

日時 平成30年3月28日

場所 ホテルパーク

平成29年度の西8階送別会を行いました。

深尾師長さん(看護部へ)

医師6名: 前田先生(岐阜県総合医療センターへ)、田島先生(がん研究会有明病院へ)、田尻下先生(松波総合病院へ)、鷹尾先生(大雄会病院へ)、多和田先生(多治見市民病院へ)、村瀬先生(揖斐厚生病院へ)

看護師8名: 林さん、渡邊さん、百武さん(他病棟へ)、田原さん、長屋さん、内木さん、小野さん、高崎さん(退職予定)

以上の皆さんが送別されました。

医局、西8階病棟、薬剤部、治験センター、外来から多くの方々に集まっていただきました。



吉田教授より、開会のご挨拶と乾杯の御発声をしていただきました。深尾師長さんへの送別のお言葉を、医師の送別者のご紹介と贈る言葉を、送別される看護師さんへ贈る言葉をいただきました。



深谷師長さんより送別される看護師さん一人一人をご紹介いただきました。そして、看護部への御異動にあたり、ご挨拶を頂きました。

各領域の先生方(胃外科 山口先生、乳腺外科 二村先生、大腸外科 高橋先生、肝胆膵外科 松井先生)より送別者へのお言葉をいただきました。

送別者の皆さんから一言ずつご挨拶をいただきました。



前田先生



田島先生



田尻下先生



鷹尾先生



多和田先生



村瀬先生



百武さん



渡邊さん



林さん



田原さん



長屋さん



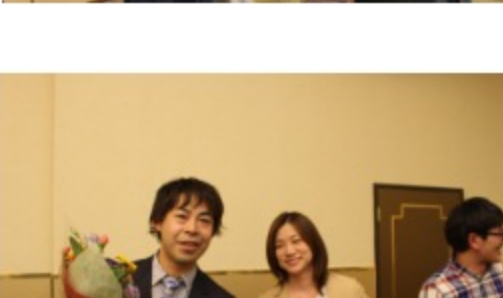
内木さん



小野さん



高崎さん



送別のみなさんに花束が贈られました。



みなさん、思い出話に花が咲きました。



新病院長となられる吉田教授にお祝いの花束が贈られました。



この日、外は桜が満開でした。

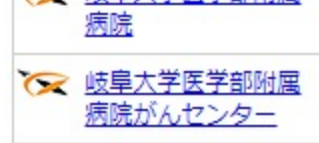


大病院でのご勤務をお疲れさまでした。

4月からそれぞれの新天地でのご活躍を心よりお祈り申し上げます。

ご案内

- ▶ トップページ
- ▶ 教授挨拶
- ▶ 教室紹介
- ▶ 診療内容
- ▶ 外来担当表
- ▶ セカンドオピニオン
- ▶ 研究課題
- ▶ 臨床試験
- ▶ 業績
- ▶ 研修・入局案内
- ▶ 関連病院紹介
- ▶ スタッフ紹介
- ▶ 教室日記



教室日記

トップページ > 教室日記 > 第 51 回制癌剤適応研究会を開催しました

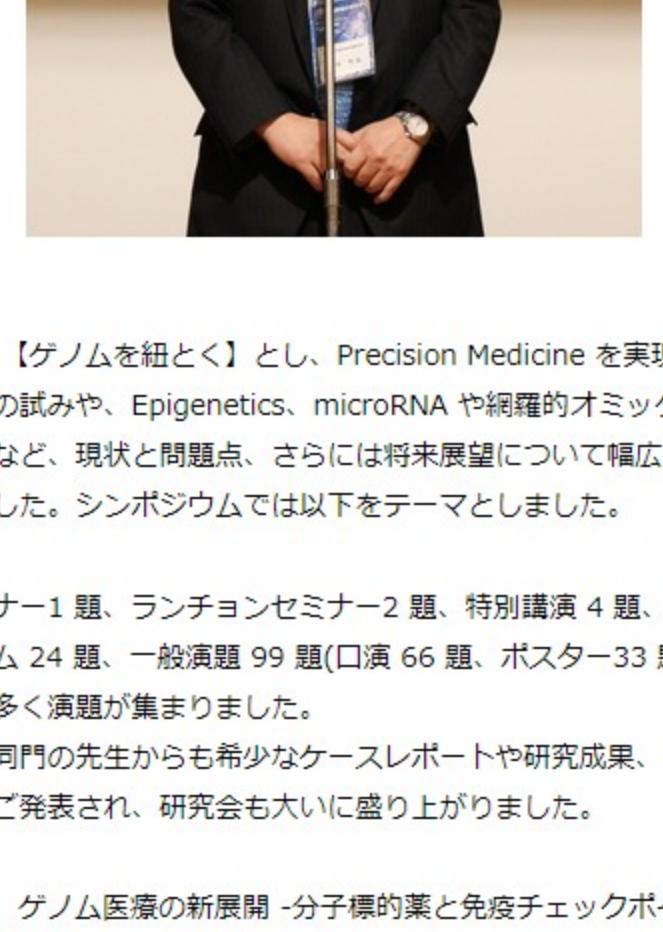
第 51 回制癌剤適応研究会を開催しました

投稿日：2018年3月23日（金）



日時：2018年3月23日
場所：下呂温泉 水明館

第 51 回制癌剤適応研究会を当科 吉田和弘教授を会長として開催されました。

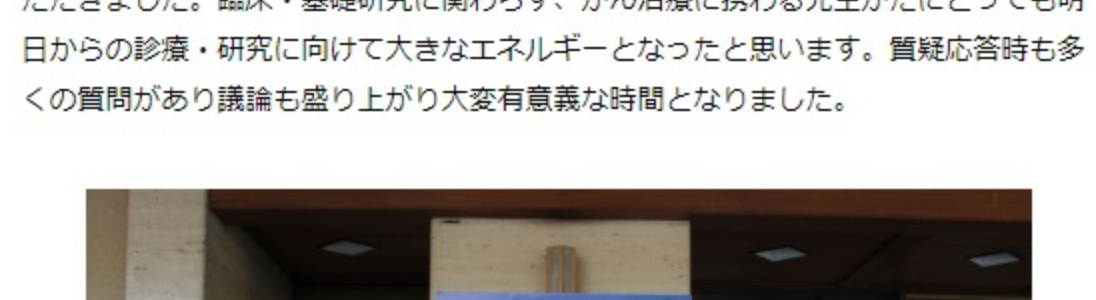
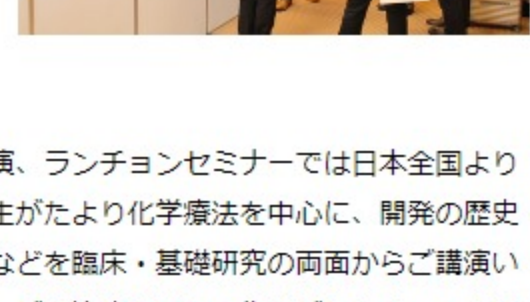
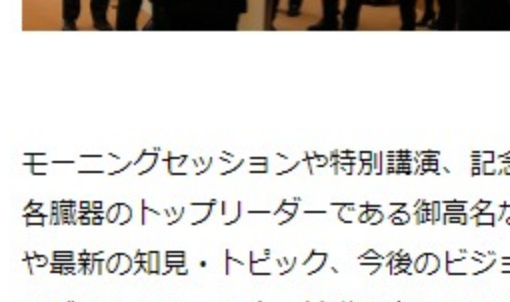
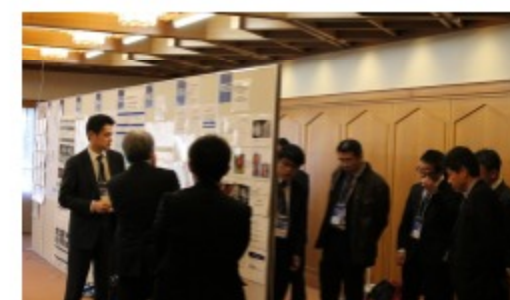
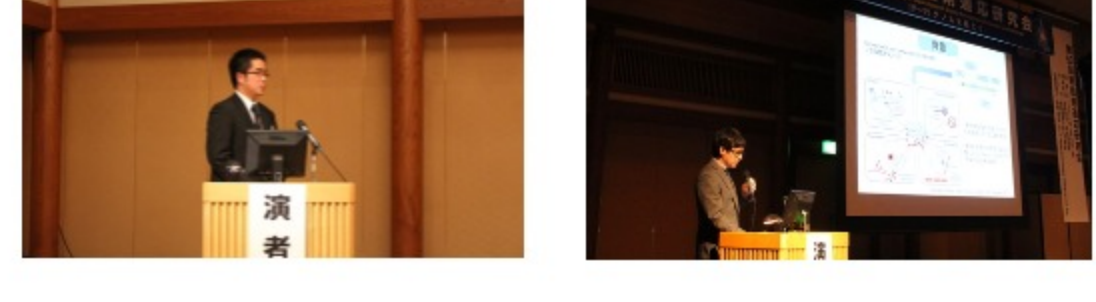


今回のテーマは【ゲノムを紐とく】とし、Precision Medicine を実現するための網羅的ゲノム解析の試みや、Epigenetics、microRNA や網羅的オミックス解析、あらたな治療の開発など、現状と課題点、さらには将来展望について幅広く議論していただける会となりました。シンポジウムでは以下をテーマとしました。

モーニングセミナー1 題、ランチョンセミナー2 題、特別講演 4 題、記念講演 1 題、シンポジウム 24 題、一般演題 99 題(口演 66 題、ポスター-33 題)の計 131 題と過去最大数の多く演題が集まりました。

また当科および部門の先生からも希少なケースレポートや研究成果、各施設でのデータの検討などを発表され、研究会も大いに盛り上がりました。

シンポジウム 1. ゲノム医療の新展開-分子標的薬と免疫チェックポイント阻害剤-
シンポジウム 2. 抗がん剤治療の現状と展望
シンポジウム 3. 抗がん剤耐性とその克服



モーニングセッションや特別講演、記念講演、ランチョンセミナーでは日本全国より名譽器のトップリーダーである御高名な先生がたより化学療法を中心に、開発の歴史や最新の知見、トピック、今後のビジョンなどを臨床・基礎研究の両面からご講演いただきました。臨床・基礎研究に関わらず、がん治療に携わる先生がたにとっても明日からの診療・研究に向けて大きなエネルギーとなったと思います。質疑応答時多くの質問があり議論も盛り上がり大変有意義な時間となりました。



【モーニングセミナー】
座長：名古屋大学大学院医学系研究科 消化器外科学 小寺泰弘 教授
「フ化ピリミジン系抗がん剤の開発・研究」
講師：九州大学大学院 消化器・総合外科 前原喜彦 教授

【特別記念講演】
司会：岐阜大学大学院医学系研究科 腫瘍外科学 吉田和弘 先生
「個別化・複合がん免疫療法の開発に向けて」
講師：慶應義塾大学医学部 先端医学研究所 細胞情報研究部門 河上裕 先生



【特別講演 1】
座長：静岡県立静岡がんセンター 寺島雅典 先生
「胃癌化学療法の新潮流」
講師：神奈川県立がんセンター 消化器外科 吉川貴 先生
特別発言：福島県立医科大学 竹之下誠一 先生

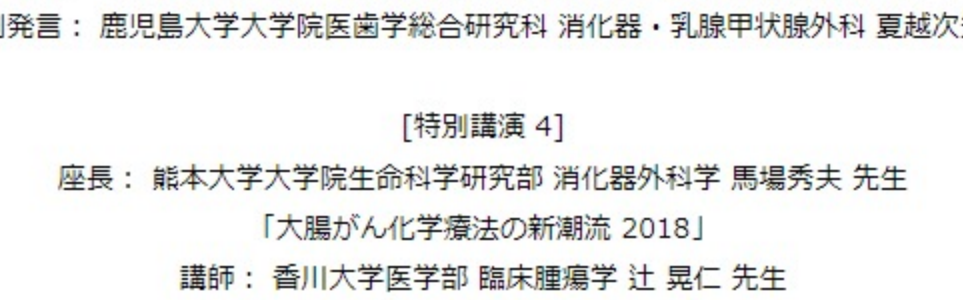
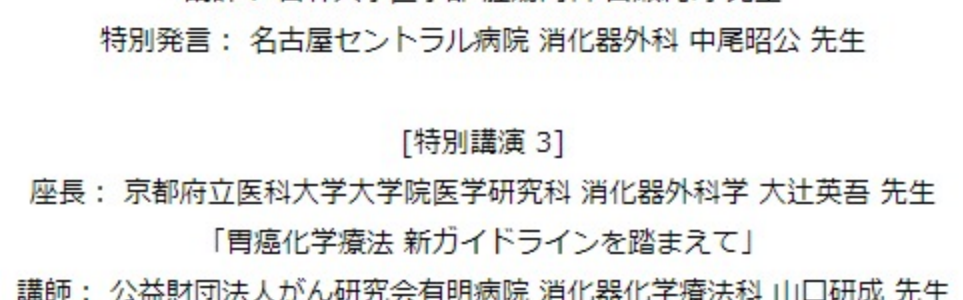
【特別講演 2】
座長：東北大学大学院医学系研究科 消化器外科学 海野倫明 先生
「切除不能肺癌に対する化学療法--最新の動向」
講師：杏林大学医学部 腫瘍内科 古瀬純司 先生
特別発言：名古屋セントラル病院 消化器外科 中尾昭公 先生

【特別講演 3】
座長：京都府立医科大学大学院医学研究科 消化器外科学 大辻英吾 先生
「胃癌化学療法 新ガイドラインを踏まえて」
講師：公益財団法人がん研究会有明病院 消化器化学療法科 山口研成 先生
特別発言：鹿児島大学大学院医学総合研究科 消化器・乳腺甲状腺外科 夏越次先生

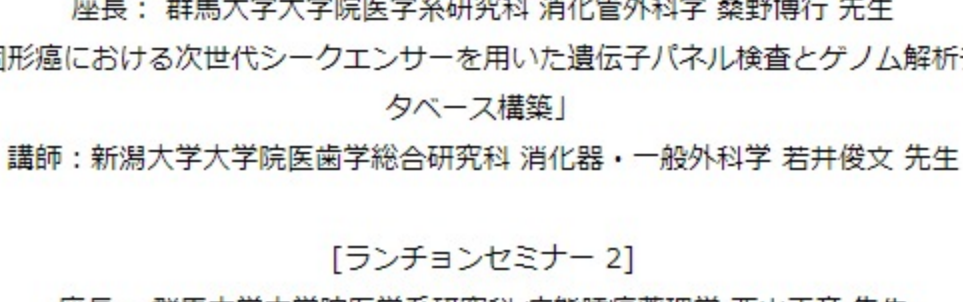
【特別講演 4】
座長：熊本大学大学院生命科学部 消化器外科学 馬場秀夫 先生
「大腸がん化学療法の新潮流 2018」
講師：香川大学医学部 臨床腫瘍学 辻 晃仁 先生
特別発言：浜松医科大学 今野弘之 先生

【ランチョンセミナー 1】
座長：群馬大学大学院医学系研究科 消化器外科学 桑野博行 先生
「固形癌における次世代シーケンサーを用いた遺伝子パネル検査とゲノム解析データベース構築」
講師：新潟大学大学院医学総合研究科 消化器・一般外科学 若井俊文 先生

【ランチョンセミナー 2】
座長：群馬大学大学院医学系研究科 病態腫瘍薬理学 西山正彦 先生
「大腸がん薬物療法の進展～各種ガイドラインの記載を紐解く～」
講師：愛知がんセンター中央病院 薬物療法部 室 圭 先生



前日の全県懇親会では古田岐阜県知事、服部下呂市長にも参加して頂き、岐阜県の魅力さらには下呂市の魅力を参加された先生方にアピールされました。



名古屋大学消化器外科 小寺教授（制癌剤適応研究会：代表世話人）からも本研究会の歴史および当科が当番主催であることの感謝のお言葉を頂きました。



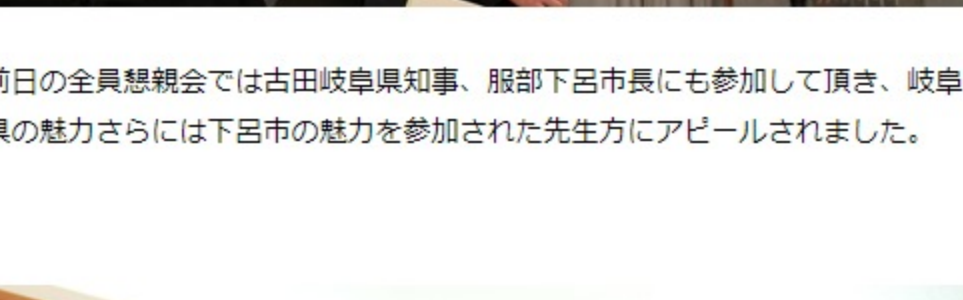
岐阜大学腫瘍外科 佐治名誉教授からも本研究会開催における激励の御挨拶を頂きました。



名古屋セントラル病院 中尾院長より乾杯のご挨拶を頂きました。



懇親会も行われました。参加者一同、日本三銘泉の一つ、下呂温泉で日頃の疲れを癒しました。



医局員、秘書の方々の一致団結した企画・運営により、無事に盛況のうちに終了しました。

また多くの腫瘍外科同門会員の先生方のお支えがあり、無事終了することができたこと感謝申し上げます。

文責 事務局長 松橋延壽
ホームページ委員 田島ジェシー 謹
今井健晴

▲ページの先頭へ戻る

▼ **ご案内**

- ▶ [トップページ](#)
- ▶ [教授挨拶](#)
- ▶ [教室紹介](#)
- ▶ [診療内容](#)
- ▶ [外来担当表](#)
- ▶ [セカンドオピニオン](#)
- ▶ [研究課題](#)
- ▶ [臨床試験](#)
- ▶ [業績](#)
- ▶ [研修・入局案内](#)
- ▶ [関連病院紹介](#)
- ▶ [スタッフ紹介](#)
- ▶ **教室日記**
- ▶ [2022年](#)
- ▶ [2021年](#)
- ▶ [2020年](#)
- ▶ [2019年](#)
- ▶ [2018年](#)
- ▶ [2017年](#)
- ▶ [2016年](#)
- ▶ [2015年](#)
- ▶ [2014年](#)
- ▶ [2013年](#)
- ▶ [2012年](#)
- ▶ [2011年](#)
- ▶ [2010年](#)
- ▶ [2009年](#)
- ▶ [2008年](#)
- ▶ [2007年](#)
- ▶ [オプトアウト対象の臨床研究](#)
- ▶ [寄付講座](#)
- ▶ [同門会](#)



-  [岐阜大学医学部](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院がんセンター](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院外科](#)

▼ **教室日記**

トップページ > 教室日記 > 第10回 医局説明会を開催しました

第10回 医局説明会を開催しました

投稿日：2018年1月26日（金）

第10回 腫瘍外科医局説明会
 日時：平成30年1月26日
 1次会：長良川観光ホテル 石金
 2次会：COA
 共催：岐阜の若手外科医を育てる会
 外科医に興味を持っていただいている1年目の研修医を対象に医局説明会を開催しました。1年目の研修医の先生15名と、2年目の研修医の先生6名に御参加いただき、同門からは32名の先生方に御参加いただきました。



吉田教授 乾杯の挨拶



畑中先生



鷹尾先生

吉田和弘教授の乾杯にはじまり、岐阜県総合医療センター外科の畑中先生、岐阜大学附属病院腫瘍外科の鷹尾先生に御講演いただきました。

畑中先生には若手外科医の楽しさと苦しさの両側面からの話をしていただき、鷹尾先生からは女性外科医という立場から仕事、出産、子育てについて話をしていただきました。



松橋先生

松橋先生からは、外科専門医制度について御講演いただき、研修医の先生方も興味深く耳を傾けていました。外科の魅力を研修医の先生に伝える良い機会となりました。



2次会にもほとんどの研修医の先生が参加してくださいました。お互いに少し緊張もほぐれ、自己紹介してもらいながら笑い声も多く聞こえてきました。本当に多くの研修医の先生、同門の先生方に御参加いただけたことを深くお礼申し上げます。

文責 岩田 至紀



ご案内

- トップページ
- 教授挨拶
- 教室紹介
- 診療内容
- 外来担当表
- セカンドオピニオン
- 研究課題
- 臨床試験
- 業績
- 研修・入局案内
- 関連病院紹介
- スタッフ紹介
- 教室日記**
 - 2022年
 - 2021年
 - 2020年
 - 2019年
 - 2018年
 - 2017年
 - 2016年
 - 2015年
 - 2014年
 - 2013年
 - 2012年
 - 2011年
 - 2010年
 - 2009年
 - 2008年
 - 2007年
- オプトアウト対象の臨床研究
- 寄付講座
- 同門会



教室日記

トップページ > 教室日記 > 岐阜外科漢方フォーラム

岐阜外科漢方フォーラム

投稿日：2018年1月19日 (金)

岐阜外科漢方フォーラム
～漢方医学と西洋医学の和～
日時：平成30年1月19日(金)19:00～21:00
会場：岐阜都ホテル2階 演
岐阜市長良福光2695-2 TEL058-295-3100
開会の辞 岐阜市民病院 杉山 保幸 先生
一般演題(19:05～19:30)
座長 岐阜大学大学院医学系研究科 がん先端医療開発講座 松橋 延壽 先生
①生活のしやすさに関する質問票を用いた苦痛スクリーニングの現状
岐阜県総合医療センター看護部 信田直美 氏
②当院外来化学療法室における支持療法～がん化学療法の副作用に対する漢方薬の使用経験～
岐阜大学医学部附属病院 薬剤部 藤井 宏典 先生
Special lecture (19:30～21:00)
座長 岐阜大学大学院医学系研究科 腫瘍外科学 教授 吉田 和弘 先生
Special lecture 1 『外科漢方のOrthodox & Serendipity』
講師 徳島大学大学院医歯薬学研究所 消化器・移植外科学 教授 島田 光生 先生
Special lecture 2 『漢方薬をサイエンスする』
九州大学大学院 消化器・総合外科 教授 前原 喜彦 先生
閉会の辞 岐阜県総合医療センター 園枝 克行 先生
※研究会終了後、情報交換会を予定しております。 主催：株式会社ツムラ

2018年1月19日に岐阜県総合医療センター看護部 信田直美氏、当院薬剤部 藤井宏典先生、そして徳島大学大学院医歯薬学研究所消化器・移植外科学 島田光生教授、九州大学大学院消化器・総合外科 前原喜彦教授をお招きし、岐阜外科漢方フォーラム ～漢方医学と西洋医学の和～が行われました。

開会の辞として、岐阜市民病院 杉山保幸先生にご挨拶をいただきました。

一般演題 では、岐阜大学大学院医学系研究科 がん先端医療開発講座 松橋延壽准教授が司会をされ、①『生活のしやすさに関する質問票を用いた苦痛スクリーニングの現状』について岐阜県総合医療センター看護部の信田直美氏に御発表いただき、②『当院外来化学療法室における支持療法～がん化学療法の副作用に対する漢方薬の使用経験～』について岐阜大学医学部附属病院薬剤部の藤井宏典先生に御発表いただきました。

信田氏からは同院でがん化学療法や緩和ケアを受けている患者さんを対象に苦痛スクリーニングを行った結果、約半数以上の方が何らかの苦痛を抱えておられる現状とその対策を報告いただきました。藤井先生からは、化学療法における有害事象の一つである口内炎に対し、半夏瀉心湯を用いてマネジメントを行っている現状を、実際のケースも含めて報告いただきました。



座長 松橋延壽先生 信田直美先生 藤井宏典先生

Special lectureでは、岐阜大学大学院医学系研究科腫瘍外科学 吉田和弘教授が司会をされました。



Special lecture 座長 吉田和弘教授

Special lecture1では『外科漢方のOrthodox&Serendipity』というテーマで、徳島大学大学院医歯薬学研究所消化器・移植外科学 島田光生教授に御講演をいただきました。

まず、島田教授が漢方に注目された経緯、さらにTU-100により肝血流・門脈血流が増加するメカニズム、菌藻菌湯の肝庇護作用・線維化の抑制メカニズム等、同大学院での研究成果を御紹介いただきました。また、DKTフォーラムにおいて展開された肝臓外科、胃外科、大腸外科でのTU-100の臨床試験の結果をご紹介いただきました。TU-100が腸管運動を促進するというOrthodoxから、同臨床試験から得られたデータから患者の絞り込み・Big dataの利用・他の薬効というSerendipityについてお話しいただきました。TU-100に限らず、日頃からOrthodox からSerendipityを意識した臨床・研究をしていく重要性を感じました。最後に、NHKで放送された教授回診の様子をご紹介いただき、島田教授の患者さんと笑顔で向き合われている姿がとても印象的でした。



Special lecture1 島田光生教授

Special lecture2では『漢方をサイエンスする』というテーマで、九州大学大学院消化器・総合外科 前原喜彦教授に御講演をいただきました。漢方の成り立ちから今後の方向性まで大変わかりやすくご講演いただきました。漢方とは、複数の生薬がブレンドされており、また1つの生薬のなかにも多くの成分が含まれており、相乗効果を発揮するメカニズムをお話しいただきました。さらに大建中湯、六君子湯、半夏瀉心湯、十全大補湯を例に基礎研究から臨床研究までエビデンスを紹介いただきました。また漢方をサイエンスするための問題点とその解決法を御提言いただき、今後、漢方は癌集学的治療においても外科治療や化学療法、放射線療法、緩和ケアなどと並んで重要な役割を果たす可能性を感じました。西洋医学と漢方医学の融合の実現、漢方からKAMPOへと日本から世界へエビデンスを発信する必要性をお話しされ、一同大変感銘を受けました。



Special lecture2 前原喜彦教授

最後に閉会の辞として、岐阜県総合医療センター 園枝克行先生にご挨拶をいただきました。



謝辞

日本そして世界の消化器外科学における臨床・研究のトップを走られている前原教授、島田教授に岐阜の後で講演して頂き、大変貴重な会となりました。遠路はるばる岐阜に来て頂き、本当にありがとうございました。医局一同感謝申し上げます。

文責 今井健晴

ご案内

- ▶ トップページ
- ▶ 教授挨拶
- ▶ 教室紹介
- ▶ 診療内容
- ▶ 外来担当表
- ▶ セカンドオピニオン
- ▶ 研究課題
- ▶ 臨床試験
- ▶ 業績
- ▶ 研修・入局案内
- ▶ 関連病院紹介
- ▶ スタッフ紹介
- ▶ 教室日記**
- ▶ 2022年
- ▶ 2021年
- ▶ 2020年
- ▶ 2019年
- ▶ 2018年
- ▶ 2017年
- ▶ 2016年
- ▶ 2015年
- ▶ 2014年
- ▶ 2013年
- ▶ 2012年
- ▶ 2011年
- ▶ 2010年
- ▶ 2009年
- ▶ 2008年
- ▶ 2007年
- ▶ オプトアウト対象の臨床研究
- ▶ 寄付講座
- ▶ 同門会


同門会発行
辛夷


胃がんとは
 MOVIE


外来化学療法
 って何？


術後GISTの
化学療法


ASCO2013
 ~Late Breaking Abstracts~


ASCO2015
 ~special session :
 Global Oncology Symposium~

-  [岐阜大学医学部](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院がんセンター](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院外科](#)

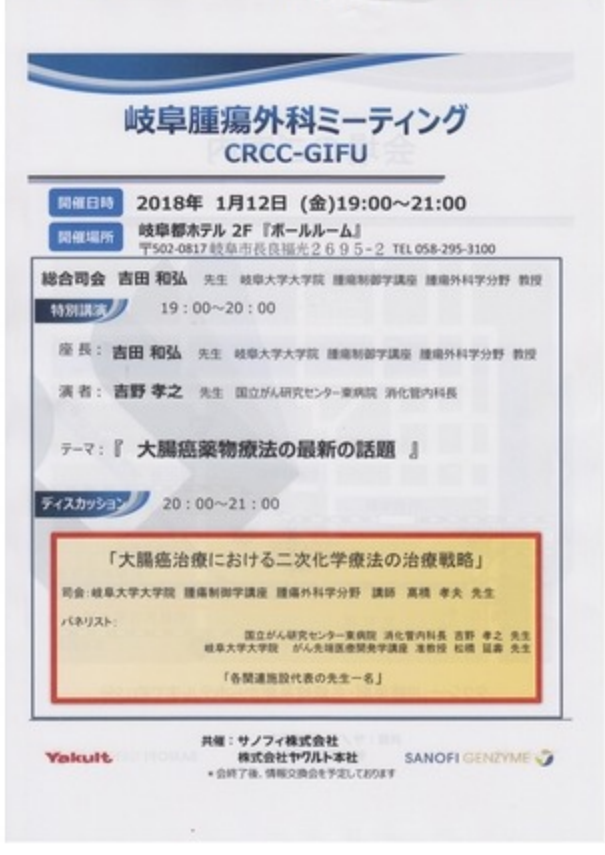
教室日記

トップページ > 教室日記 > 岐阜腫瘍外科ミーティングが開催されました。

岐阜腫瘍外科ミーティングが開催されました。

投稿日：2018年1月12日（金）

2018年1月12日に岐阜都ホテルにおいて、特別講演ならびにディスカッションのパネリストとして国立がん研究センター東病院 消化管内科長 吉野 孝之先生をお招きし、岐阜腫瘍外科ミーティング(CRCC-GIFU)が開催されました。



吉田教授が座長を務められ、はじめに特別講演として吉野先生より「大腸癌薬物療法の最新の話」と題し、今回のディスカッションのメインテーマである、抗VEGF抗体、特にアフリベルセプトを中心にご講演いただきました。

ペバシズマブ、ラムシズマブ、アフリベルセプト3剤の作用機序の相違点を解説していただくとともに、VELOUR試験などの臨床試験、サブ解析結果も含めご教授いただきました。アフリベルセプトは2次治療においてもレスポンスが20%と良好である点、1次治療で早期PDとなった症例においてもFOLFIRIに対し有意に上乗せ効果が示されている点も強調され、2次治療のレジメン選択の重要性を再認識いたしました。また昨年吉野先生がchairmanを務めて行われたPan-Asia Consensus Meetingについても写真や話し合われた内容の詳細を紹介していただき、海外で先頭に立って臨床試験を先導されている姿を講演内で拝見拝聴することができ大変感銘を受けました。



座長 吉田 和弘 教授



特別講演 吉野 孝之 先生

特別講演後は、吉野先生にもパネリストに加わっていただき、高橋孝夫先生の司会のもと「大腸癌治療における2次化学療法の治療戦略」についてディスカッションが行われました。5例の仮想症例を提示していただき、各関連施設の代表先生1名ずつ13名がディスカッサントとなり2次治療レジメンについて、特に抗VEGF抗体3剤のいずれを選択するかについて意見が交わされました。

- <パネリスト>
- 岐阜大学病院 松橋延壽先生 吉田和弘教授
 - 岐阜県総合医療センター 田中千弘先生
 - 岐阜市民病院 松井康司先生
 - 恵那病院 北村文近先生
 - 金山病院 天回望先生
 - 高山赤十字病院 八幡和憲先生
 - 揖斐厚生病院 佐野仁哉先生
 - 岐北厚生病院 田中秀典先生
 - 村上記念病院 市川賢吾先生
 - 大垣徳洲会病院 西科琢雄先生
 - 木沢記念病院 坂下文夫先生
 - 犬山中央病院 福井貴巳先生



司会 症例提示 高橋 孝夫 先生



アフリベルセプトは1次治療早期PD症例、肝転移のみの症例、(KRAS mutで)2次治療でもレスポンスを期待したい症例、において有効であり積極的に選択できることをディスカッションの中で学ぶことができ、大変有意義な会であったと思います。

その後の吉野先生を囲んでの懇親会でも、吉野先生のオンコロジストとして、教育者としての熱い人柄に触れることができ、とても楽しい一時を過ごすことができました。

昨年11月に引き続き遠い岐阜まで講演に来ていただき、誠にありがとうございました。医局一同感謝申し上げます。

